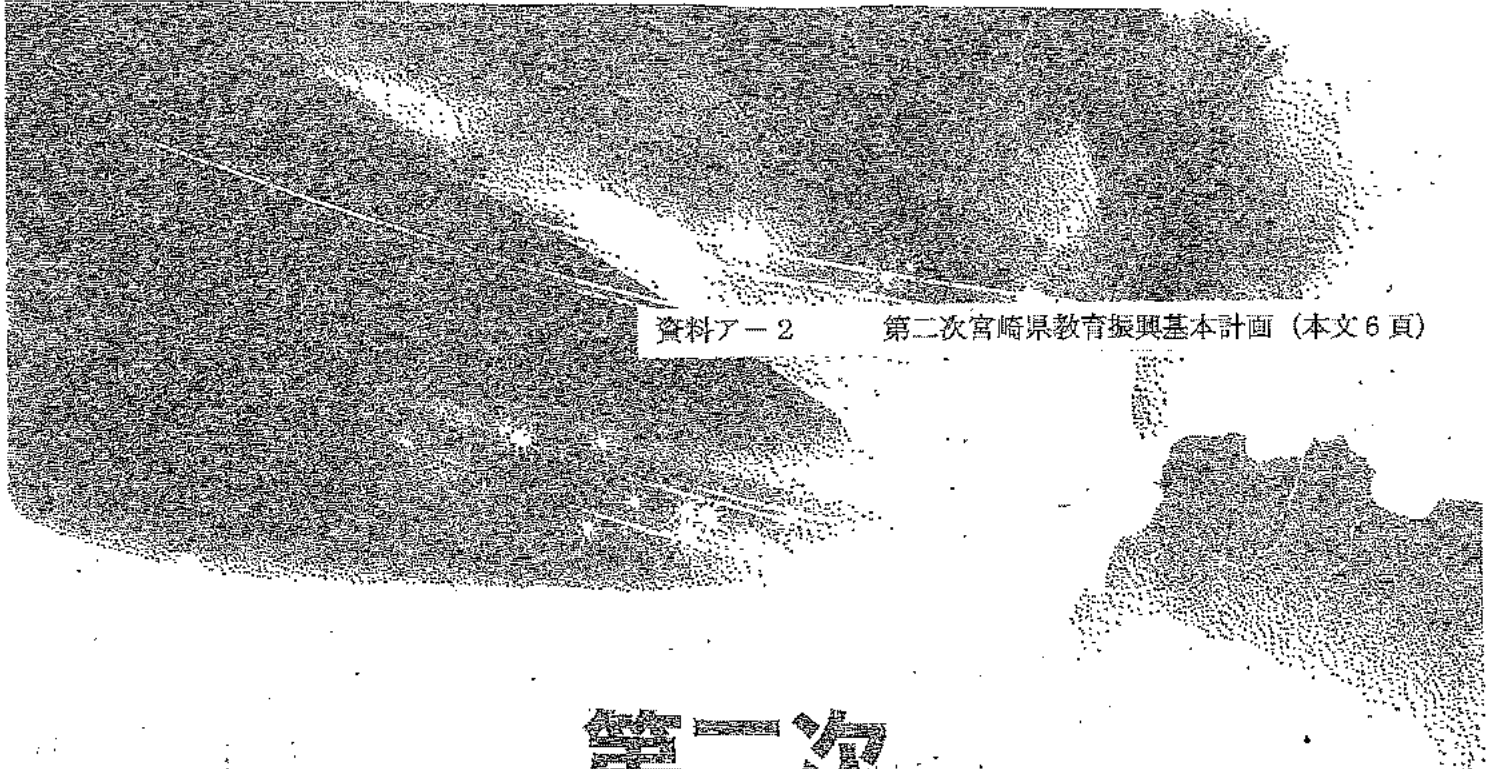


資料目次

資料アー 1	学校法人宮崎学園 組織図 (本文 1 頁)
資料アー 2	第二次宮崎県教育振興基本計画 (本文 6 頁)
資料アー 3	宮崎県における英語教育の取組み (本文 6 頁)
資料アー 4	宮崎県公立学校教員採用選考試験実施要項 (本文 7 頁)
資料アー 5	小学校英語教育に関する記事 (読売新聞、平成 25 年 5 月 18 日) (本文 7 頁)
資料イー 1	宮崎国際大学教育学部児童教育学科設置に関するアンケート調査 (本文 14 頁) (第三者による報告書)
資料イー 2	宮崎学園高等学校アンケート調査結果 (独自調査による結果) (本文 14 頁)
資料イー 3	宮崎国際大学 入試における宮崎県出身者数および県外出身者の推移 (本文 14 頁)
資料イー 4	宮崎県内・近隣大学の入試状況 (平成 23 年度～平成 25 年度) (本文 15 頁)
資料イー 5	全国における高等学校卒業者の大学・短大進学率の推移 (現役進学率) (本文 16 頁)
資料イー 6	宮崎国際大学教育学部に係る入学希望調査について (本文 16 頁)
資料イー 7	宮崎県 年齢別本務教員数(公立小学校) (本文 18 頁)
資料イー 8	宮崎県教員の退職に関する記事 (宮崎日日新聞、平成 24 年 12 月 30 日) (本文 19 頁)
資料イー 9	宮崎県及び近隣の小学校教員採用者数調べ (本文 19 頁)
資料イー 1 0	宮崎県の幼稚園数・園児数・教員数 (本文 19 頁)
資料イー 1 1	宮崎県における教育職員免許状の種類別授与件数 (本文 20 頁) 宮崎県の保育士資格取得者の就職状況
資料イー 1 2	宮崎県の合計特殊出生率の年次推移 (本文 20 頁)
資料イー 1 3	受入児童数 (利用児童数) が 100 人以上増加した地方自治体 (本文 20 頁)
資料イー 1 4	保育士不足が深刻 (宮崎日日新聞、平成 25 年 4 月 29 日) (本文 21 頁)
資料イー 1 5	宮崎県内保育所 (園) ・幼稚園を対象とした受け入れ調査 (本文 22 頁) 宮崎県内 (保育施設・幼稚園等) 職場へのアンケート (まとめ)
資料オー 1	カリキュラム編成・小幼コース<授業科目の流れ> (本文 25 頁)
資料オー 2	カリキュラム編成・幼保コース<授業科目の流れ> (本文 27 頁)
資料オー 3	ポートフォリオ (本文 28 頁)
資料カー 1	児童教育研究センター規程 (案) (本文 35 頁)
資料カー 2	語学教育研究センター規程 (案) (本文 36 頁)

資料キー 1	履修モデル（小幼コース）（本文 42 頁）
資料キー 2	履修モデル（幼保コース）（本文 42 頁）
資料コー 1	授業科目リスト（小学校教諭一種免許状）（本文 51 頁）
資料コー 2	授業科目リスト（幼稚園教諭一種免許状）（本文 51 頁）
資料コー 3	授業科目リスト（保育士資格）（本文 51 頁）
資料サー 1	実習施設一覧（小学校）（本文 55 頁）
資料サー 2	実習施設一覧（幼稚園）（本文 55 頁）
資料サー 3	実習施設一覧（保育所（園））（本文 55 頁）
資料サー 4	実習施設一覧（社会福祉施設）（本文 55 頁）
資料スー 1	教育学部 教授会規程（案）（本文 59 頁）
資料スー 2	教育学部児童教育学科 学科会議規程（案）（本文 60 頁）
資料スー 3	教育学部児童教育学科 各種委員会規程（案）（本文 60 頁）
資料チー 1	学生教職支援センター規程（案）（本文 67 頁）
資料チー 2	自己開発センター利用規程（案）（本文 67 頁）
資料ツー 1	宮崎国際大学就業規則（本文 67 頁）
資料ツー 2	公的研究費の管理・監査のガイドライン（本文 68 頁）



資料ア-2

第二次宮崎県教育振興基本計画（本文6頁）

第二次 宮崎県教育振興基本計画

未来を切り拓く心豊かでたくましい宮崎の人づくり

施策の目標Ⅱ 生きる基盤を育む教育の推進

【施策7】 技術革新や国際化の進展に対応する教育の推進

現状と課題

我が国の社会は、情報化、国際化、科学技術の進展、環境問題への関心の高まりや、少子高齢化などにより大きく変化しており、子どもたちにはこれからの変化の激しい社会を生き抜く力を育むことが求められています。

このため学校では、インターネット等の情報通信技術を適切に活用する能力の育成や、異文化を理解し、国際社会の一員として主体的に生きていこうとする態度の育成など、国際化・グローバル化に柔軟に対応できる児童生徒の育成が必要となります。

また、科学技術の進展に対応するとともに、新しい技術を創造しようとする態度の育成や、自然環境の保全に配慮しながらともに生きていこうとする態度の育成など、未来社会のよりよい発展に寄与する児童生徒の育成が必要となります。

このような社会の進展に対応するため、学校における教育の情報化や国際化に対応した教育、科学技術教育や環境教育の推進・充実に努めます。

施策の内容

① 学校における教育の情報化の推進

情報通信技術（ICT）の活用や情報モラルに関する教育等を通して、児童生徒の情報活用能力を育成するとともに、教員のICT活用指導力の向上や校務の情報化を図るなど、学校における教育の情報化を推進します。

また、学校における教育の情報化を推進するために、教育情報通信ネットワーク（教育ネットひむか）の基盤整備に努めます。

② 国際化に対応した教育の推進

伝統と文化を尊重し、それらを育んできた我が国と郷土を愛するとともに、他国を尊重し、国際的な視野で考える力の育成、コミュニケーション能力の向上など、国際化に対応した教育を推進します。

③ 科学技術教育の充実

科学技術の進展に対応するとともに、新しい科学技術を創造しようとする態度の育成を図るなど、科学技術教育の充実に努めます。

④ 環境教育の充実

社会と自然環境との共生を目指し、自然環境の保全に寄与しようとする態度の育成を図るなど、環境教育の充実に努めます。

主な取組

① 学校における教育の情報化の推進

★情報教育の充実

- ・児童生徒の学習場面におけるICTの活用や各教科等における指導のポイント等をまとめた活用事例集を作成し、情報教育の充実を図ります。
- ・小・中・高校生それぞれの段階に応じた情報教育の指導計画を策定し、学校における情報教育を体系的に推進します。

★教員のICT活用指導力の向上

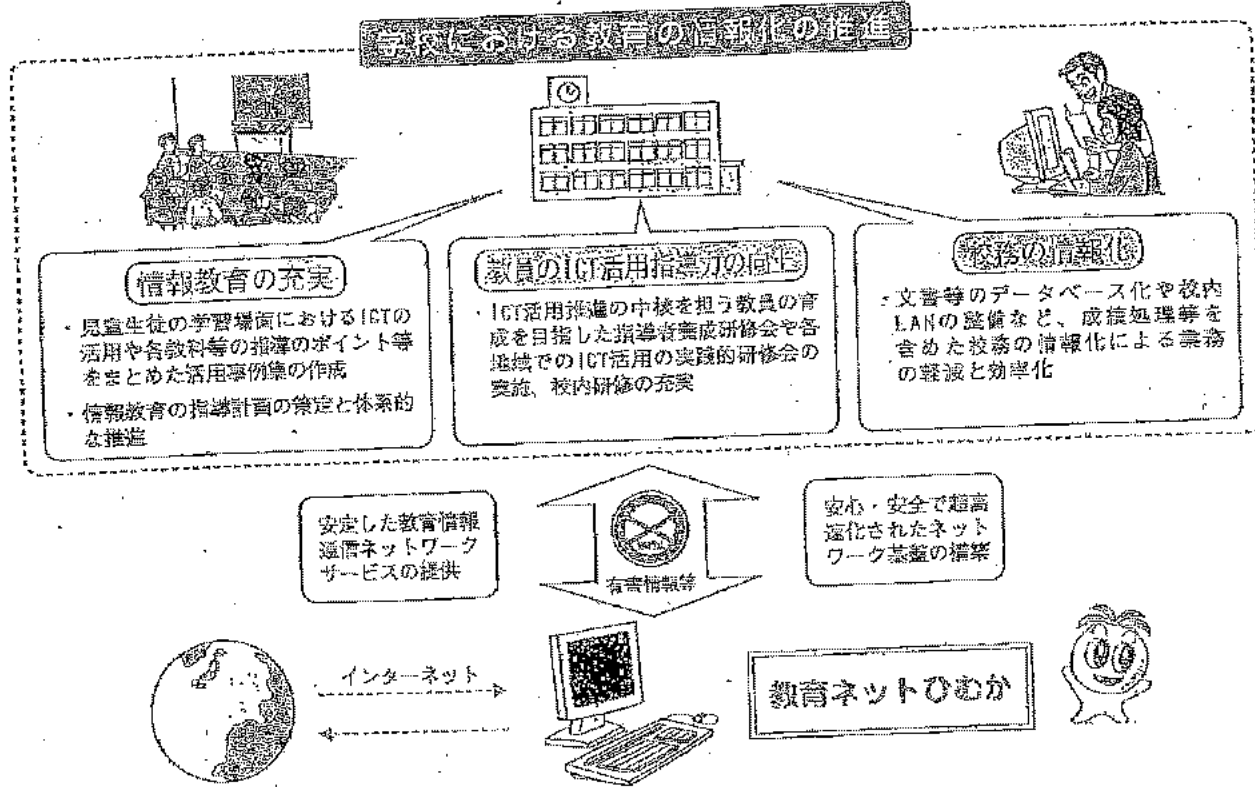
- ・ICT活用推進の中核を担う教員の育成を目指した指導者養成研修会や、県内各地域でのICT活用の実践的研修会の開催及び校内研修の充実などを通して、教員のICT活用指導力の向上を図ります。

★校務の情報化による教職員の業務の軽減と教育活動の質の改善

- ・文書等のデータベース化や校内LANの整備など、成績処理等を含めた校務の情報化による業務の軽減と効率化を実現することで、教職員が児童生徒と向き合う時間を確保するなど、教育活動の質の改善を図ります。

★教育情報通信ネットワーク（教育ネットひむか）の基盤整備

- ・情報教育の充実や教員のICT活用指導力の向上を図るため、安定した教育情報通信ネットワークサービスの提供に努めます。
- ・児童生徒を有害情報から守るためのフィルタリング機能や情報セキュリティ対策の強化を図るために、次世代に対応した安心・安全で超高速化されたネットワーク基盤を構築します。



施策の目録

今後10年間に総合的な取組に取り組み実施

② 国際化に対応した教育の推進

★国際理解教育の推進

- ・国際理解の基礎となる地域や日本の文化への理解を深めるため、地域の人材を活用しながら、児童生徒が、郷土の伝統・文化を大切にする教育を推進します。
- ・国際交流員、外国語指導助手（ALT）や地域の在住外国人を活用して、外国の文化や生活習慣等の正しい理解を深める教育を推進します。

★外国語教育の充実

- ・外国語指導助手（ALT）や地域人材を活用し、小学校における外国語活動と、中・高等学校等における外国語教育の充実を図り、コミュニケーション能力の育成を図ります。

★ホームステイ等の支援

- ・児童生徒のホームステイ等の支援のため、情報の収集・提供などに取り組みます。

★教員の国際化への対応

- ・国際理解教育や外国語活動の指導にあたる教員の研修を推進します。

③ 科学技術教育の充実

★科学技術教育の推進

- ・地域の産業界や大学、研究機関等と連携を図り、最先端科学技術を学ぶ機会の充実に努め、技術者や科学者等を志す人材の育成に努めます。

④ 環境教育の充実

★環境教育の推進

- ・持続可能な社会の構築を目指して、家庭や地域社会と連携しながら、自然環境に対する責任と役割を理解し、環境保全に参加する態度や環境問題解決のための能力の育成を図る教育を推進します。
- ・小・中・高校生それぞれの段階に応じた環境教育の指導計画を策定し、学校における環境教育を体系的に推進します。

第四
計画的に取組を推進

施策の目標Ⅳ 魅力ある教育を支える体制や環境の整備・充実

【施策1】 教職員の資質向上

現状と課題

これからの学校には、子どもたちに生きる力を育成するとともに、いじめや不登校など学校教育をめぐる様々な課題に適切に対応しながら、保護者や地域の信頼を高めていくことが求められています。

そのためには、優れた資質を備えた魅力ある教職員を確保していくとともに、子どもたちの教育に直接携わる教職員の資質向上を図ることや、その基盤となる学校の組織力を高めていくことが必要です。

教職員に求められる資質としては、「子どもに対する愛情と教育に対する情熱」、「分かりやすい授業を行い、子どもたちに確かな学力を育成するための授業力などの高い専門性」、「社会人としての幅広い教養や良識・倫理観などの幅広い社会性」、「学校組織を運営する高いマネジメント力」等があげられており、こうした資質を向上していくための取組が求められています。

一方で、様々な教育的課題に対応していくための教職員の業務は多様化・複雑化しており、それに伴う多忙感を解消することや心身の健康対策を充実させていくことが大きな課題となっています。

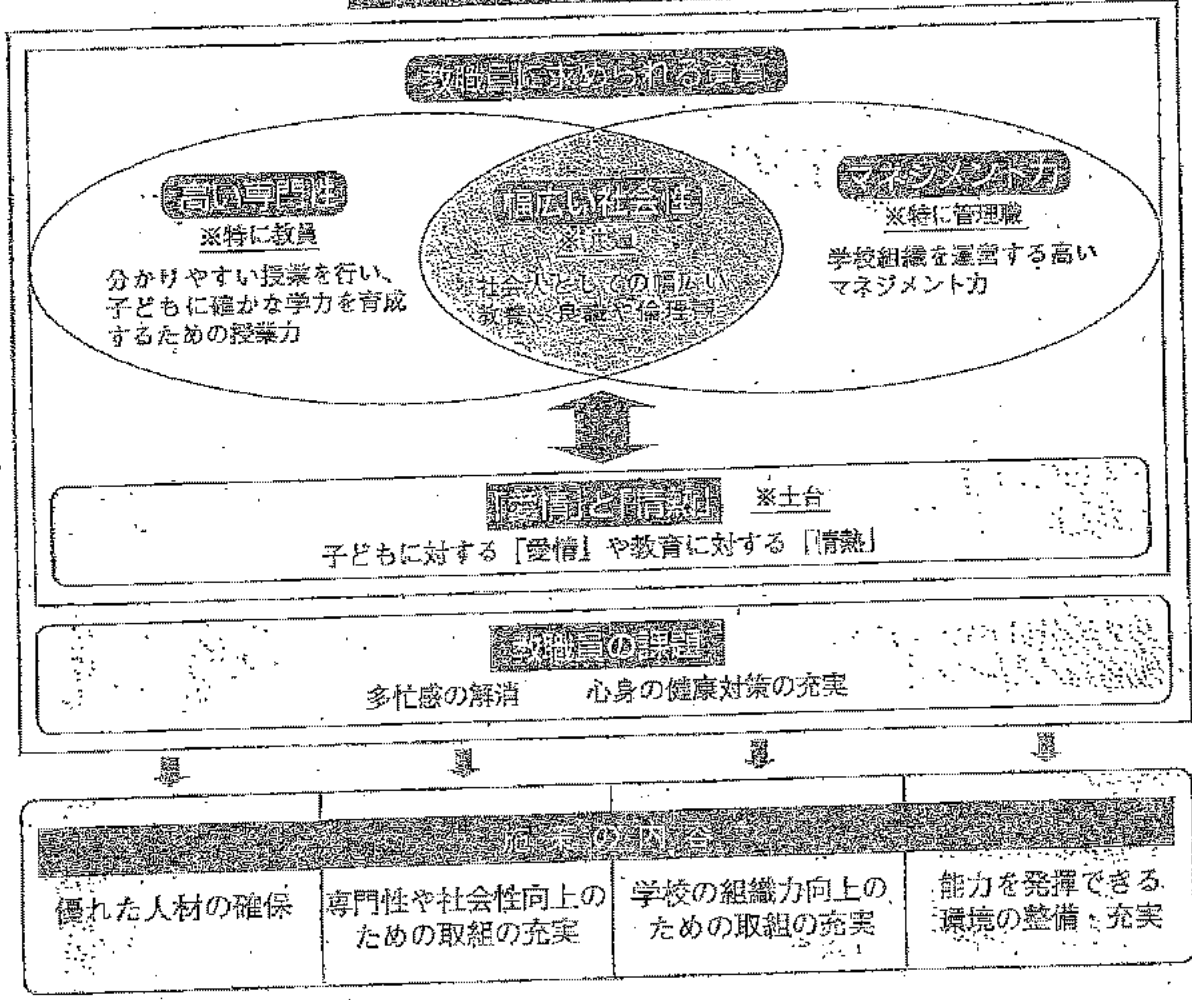
こうした現状と課題に対応するため、平成19年度策定の「教職員人材育成プラン」^(注)による取組の成果等を継承しつつ、中長期的な視野に立った教職員の資質向上を図るための取組を進めていきます。

(注) 「教職員人材育成プラン」：本県教職員の教育力を向上させ高いレベルの教育サービスを提供していくため、「大学等における養成」「採用」「研修」「評価」「異動」「任用」「環境」等、人材を育成するために重要な各要素をトータル的に見直し、中長期的な視点から一貫した理念に基づいた人材育成を行うために策定したものの。

施策の内容

- ① 優れた人材の確保
養成を担う大学との連携や教員等採用選考の工夫・改善等により、豊かな人間性と高い専門性を有する優秀な人材の確保に努めます。
- ② 専門性や社会性向上のための取組の充実
採用後に実施する体系的な研修や、優れた教員の力を生かした取組等の充実により、本県教職員の専門性や社会性の向上に努めます。
- ③ 学校の組織力向上のための取組の充実
学校組織の見直しや組織的な取組の推進等により、学校の組織力向上に努めます。
- ④ 能力を発揮できる環境の整備・充実
教職員評価制度の活用や、より公平・公正な異動・任用を実施するとともに、学校業務の改善や心身の健康対策を推進し、能力を発揮できる環境の整備・充実に努めます。

教職員の資質向上（概念図）



主な取組

① 優れた人材の確保

★大学との連携推進

- 子どもに対する愛情と教育に対する情熱を持ち、本県の教育的課題の解決を図る実践的指導力のある人材を養成するために、教職希望者に対する学校での体験機会を提供したり、大学での講座に講師を派遣したりするなど、大学と教育委員会の連携を推進します。

★採用選考等の工夫・改善

- 豊かな人間性と専門性を有する優秀な教員等を採用するために、採用選考の方法等について工夫・改善するとともに、今後増加していく退職者の豊かな経験と指導力を活用するための再任用の在り方について検討します。

② 専門性や社会性向上のための取組の充実

★専門性や指導力を高めるための取組の充実

- 教職員の資質向上を図るため、教育委員会が実施する体系的・計画的な研修の充実に努めるとともに、各学校のニーズに応じた校内研修等のサポートや教育情報の提供を積極的に実施します。

施策の目録

今後10年間の取組の方向性

★優れた教員の力を生かした取組の推進

- ・優れた授業力を持つスーパーティーチャー^(※1)等による授業公開や指導・助言、また若手教員の授業力向上を目指して実践的な研修を行う「宮崎授業力リーダー養成塾^(※2)」等の取組により、県内全体における教員の資質向上や次世代の教育を担う人材の育成を図ります。

(注1) 「スーパーティーチャー制度」：他の教員のモデルとなるような優れた教育実践力を持つ教員をスーパーティーチャーとして委嘱し、授業公開等を通してその優れた教育実践や高い指導技術等を県内全域に普及させることを目的とした本県独自の制度（※平成22年度委嘱者数18名）。

(注2) 「宮崎授業力リーダー養成塾」：若手教員の授業力向上を目的として塾長1名（教科指導等に実績のあるベテラン教員）と塾生5名（教職経験5～10年程度の若手教員）で構成し、授業研究などの実践的な研修を行わせる（※平成22年度は8塾設置、小学校3、中学校3、高等学校2）。

★幅広い社会性やマネジメント力等を高めるための研修の充実

- ・教職員に求められる幅広い社会性、倫理観及びマネジメント力を高めるため、社会体験研修や学校組織マネジメントの研修等を体系的に位置付け計画的に実施し、その充実を図ります。

③ 学校の組織力向上のための取組の充実

★副校長、主幹教諭及び指導教諭^(※3)の配置等による学校の組織力向上の推進

- ・副校長、主幹教諭及び指導教諭配置校の取組等を踏まえながら、教職員が能力を発揮し、人材育成を進めることができるよう学校の組織力の向上を図ります。

(注3) 「副校長、主幹教諭、指導教諭」：学校の組織力を向上させるため、一定規模以上の学校や学校経営上必要があると認められた学校に設置した職。副校長は、校長と教頭の間には置かれる職で、校長を助け校長の命を受けた範囲で、校務の一部をつかさどる。主幹教諭は、教頭と主任級の教職員の間に置かれる職で、児童生徒の授業を受け持ちながら、校務についての指導や指示、意見の取りまとめ等を行う。指導教諭は、専門的な知識や経験を有する指導力の高い教員から任用され、所属校や地域の教員に対して実践を通じた指導・助言を行う。

★事務職員の組織的な取組の推進

- ・学校事務の共同実施^(※4)等による成果を踏まえながら、事務や業務の効率化、学校運営への関わり方、教員の事務負担軽減等に向けた取組を推進します。

(注4) 「学校事務の共同実施」：本県では小・中学校において、学校事務を効率的に執行する観点から、学校規模や実態に応じた事務職員の複数配置及び複数校兼務によって事務処理の効率化や標準化を推進するとともに、子どもの教育活動への支援を行う観点から、教員の子どもと向き合う時間の確保やきめ細かな学習指導の充実を図るため、教員の事務負担軽減といった具体的取組を推進している。

④ 能力を発揮できる環境の整備・充実

★教職員評価制度を活用した人材育成の推進

- ・教職員評価制度における管理職と職員とのミーティングやフィードバックの充実を図るとともに、評価結果を積極的に活用することにより、教職員の人材育成を推進します。

★公平・公正な異動・任用の実施

- ・教職員の適材適所への配置や、有能な人材を管理職に任用するなど、より公平・公正な異動・任用を実施します。

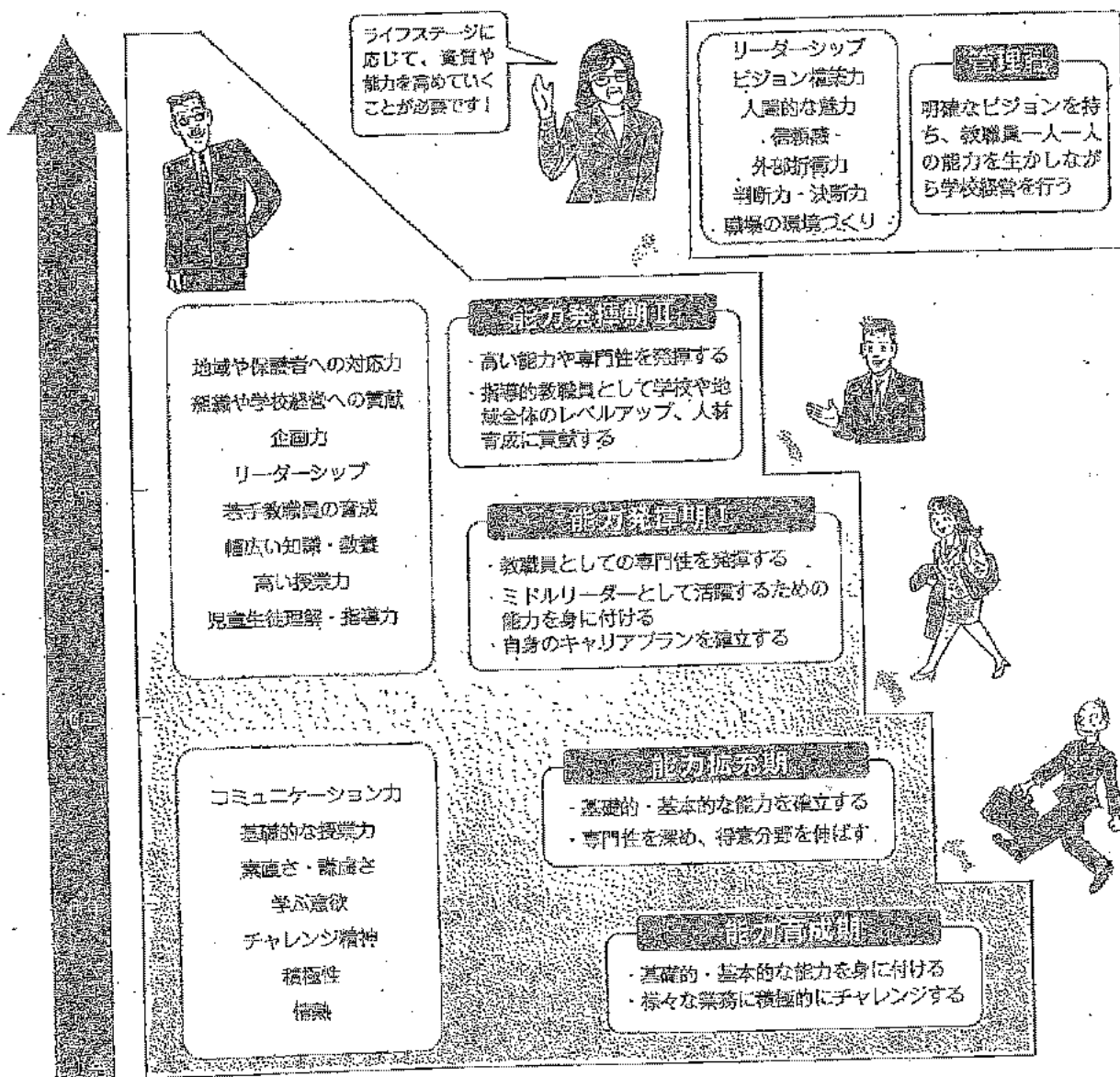
★学校業務改善の推進

- ・会議・文書の縮減や行事の精選等、教職員の多忙感の解消に向けた、学校業務の合理化をさらに推進します。

★心身の健康対策の総合的推進

- ・管理職等を対象とした研修を実施するなど、教職員の安全と健康を保持する校内体制の整備を促進するとともに、各種健康づくり事業の実施や相談体制の充実により、心身の健康増進を図ります。

教職員に求められる資質・能力



施策の目標Ⅴ

第四

今後10年間に総合的・計画的に取り組む施策

平成19年度

<p>平成19年度教育施策</p>	<p>教育施策に対応する主要な事業及び取組</p>	<p>予算(千円)</p>	<p>担当課</p>
<p>2. 未来を拓く子どもが育つ社会づくり</p> <p>(1) 学力向上施策の推進</p> <p>各学校の実態に応じた学力向上の取組を推進するとともに、教員の指導力や資質向上を図ることにより、子どもたちの学力の確実な向上を図ります。</p> <p>○ 学力の向上を図る教育の充実</p>	<p>① 地域の特性を生かした多様な一貫教育研究事業</p> <p>小・中・高の一貫した教育課程について、県内各地域の特性を生かしながら梅田改革特区も活用して実証研究を行うとともに新たな中高一貫教育校についての調査研究を行う。</p> <p>② 小学校における英語活動推進事業</p> <p>・ 教諭の指導力向上により、小学校英語活動の充実を図るため、英語活動指導者を養成するとともに研究授業や教材開発等を行う。</p> <p>③ 理科支援員等配置事業</p> <p>・ 小学校の理科授業における「観察・実験」の充実や体験的な学習に関する指導力の向上を図るため、小学校5、6年生の学級を対象として、理科支援員の配置などを行う。</p> <p>④ みやざき小中学校学方向上推進事業</p> <p>・ 児童生徒の学方向上を図るため、小学校6年生と中学校2年生を対象とした本県独自の学方調査を実施する。</p> <p>○ 小中連携推進事業</p> <p>・ 小・中学校に拠点推進校を設定するとともに中学校教員に小学校との兼務発令を行い、その教員を活用した連携指導等を行うとして「連携学力」や「基本的な生活習慣や社会前マナー・エッセ</p>	<p>4,970</p> <p>9,390</p> <p>20,254</p> <p>10,450</p> <p>85,207</p>	<p>学校政策課</p> <p>学校政策課</p> <p>学校政策課</p> <p>学校政策課</p> <p>総務課 教職員課</p>

平成20年度

88,517	教職員課 総務課
4,227	学校政策課
9,360	学校政策課
33,817	学校政策課
13,041	学校政策課
1,726	学校政策課
-	教職員課

- ◎ 小中連携預立式採專業
 - ・「小中連携推進事業」の推進拠点校44中学校区に「小中連携推進教員」を配置することなどを週し、「小中連携推進事業」の成果を拠点校以外の会中学校区（94中学校区）に普及し、本県義務教育水準の一層の向上を図る。
- 地域の特性を生かした多様な一貫教育研究專業
 - ・小・中・高の一貫した教育課程について、県内各地域の特性も生かしながら構造改革特別区域の制度も活用して実践研究を行う。
- 小中学校における英語活動推進專業
 - ・教諭の指導力向上により、小中学校英語活動の充実を図るため、英語活動指導者を養成するとともに研究授業や教材開発等を行う。
- 理科支援員等配置專業
 - ・小中学校の理科授業における「観察・実験」の充実や体験的な学習に因する指導力の向上を図るため、小学校5・6年生の学級を対象として、理科支援員の配置などを行う。
- みやざき小中学校学力向上推進專業
 - ・児童生徒の学力向上を図るため、小学校5年生と中学校2年生を対象とした本県独自の学力調査等を実施する。
- 中・高連携推進モデル專業
 - ・県内5地区の普通科高等学校1校とそれぞれの近隣の中学校（複数校）をモデル地域に指定し、教育方法研修、合同授業研究会等を実施する。
- 30人学級編制
 - ・小学校1・2年生の30人学級編制の実施

<p>生進学習課 48,794</p>	<p>(学校支援地域本部)を構築し、住民の積極的な学校支援活動を 通じて、教員の教育活動の充実及び地域の教育力向上を図る。</p> <p>○ 放課後子ども教室推進事業(再掲)</p> <p>・小学校の余剰教室等を活用し、放課後や週末における子ども 活動拠点を設け、地域住民の協力を得ながら、体験活動や学習 等を行うことにより、家庭・学校・地域が一体となって子ども を育てる取組を推進する。</p> <p>○ 社会教育関係団体助成</p> <p>・青少年健全育成に貢献する各種社会教育関係団体の活動支援</p>
<p>生進学習課 3,001</p>	<p>○ 中高一貫教育校(新設型)整備事業</p> <p>・本県中等教育の一層の充実・向上を図り、6年間の計画的・継 続的な特色ある教育を展開するため、都城系ヶ丘高等学校に中 学校を併設するための整備を行う。</p> <p>○ 読解力向上推進事業</p> <p>・小・中学校の9年間を一貫した「読解力」向上を図るシステム づくりに関する研究実践を行い、その成果を他地域や他校に普 及することにより、児童生徒の学力向上を図る。</p> <p>○ 外国語活動指導者養成事業</p> <p>・小・中学校学習指導要領に新設された「外国語活動」について、円 滑に実施できるよう、実践的な研修を実施することにより、小学校 教師の指導力の充実を図る。</p> <p>○ 新学習指導要領カリキュラム創造サポート事業</p> <p>・新学習指導要領に基づいて、全ての学校が地域の実態に応じて 特色あるカリキュラムを創造することができるようワークショップ やアドバイザー研究会等を開催することにより、各学校や教科等の核と なる人材を育成する。</p>
<p>学校政策課 26,333</p>	<p>○ 学力向上対策の推進</p> <p>・各学校の実態に応じた学力向上の取組を推進 するとともに、教員の指導力や資質向上を図る ことにより、子どもたちの学力の着実な向上を 図ります。</p> <p>○ 学力の向上を図る教育の充実</p>
<p>学校政策課 2,467</p>	<p>○ 読解力向上推進事業</p> <p>・小・中学校の9年間を一貫した「読解力」向上を図るシステム づくりに関する研究実践を行い、その成果を他地域や他校に普 及することにより、児童生徒の学力向上を図る。</p>
<p>学校政策課 3,892</p>	<p>○ 外国語活動指導者養成事業</p> <p>・小・中学校学習指導要領に新設された「外国語活動」について、円 滑に実施できるよう、実践的な研修を実施することにより、小学校 教師の指導力の充実を図る。</p>
<p>学校政策課 7,702</p>	<p>○ 新学習指導要領カリキュラム創造サポート事業</p> <p>・新学習指導要領に基づいて、全ての学校が地域の実態に応じて 特色あるカリキュラムを創造することができるようワークショップ やアドバイザー研究会等を開催することにより、各学校や教科等の核と なる人材を育成する。</p>

2 未来を拓く子どもが育つ社会づくり

(1) 学力向上対策の推進

・各学校の実態に応じた学力向上の取組を推進
するとともに、教員の指導力や資質向上を図る
ことにより、子どもたちの学力の着実な向上を
図ります。

○ 学力の向上を図る教育の充実

2 未来を拓く子どもが育つ社会づくり

(1) 学力向上対策の推進

各学校の業績に応じた学力向上の取組を推進するとともに、教員の指導力や資質向上を図ることにより、子どもたちの学力の着実な向上を図ります。

○ 学力の向上を図る教育の充実

- ◎ 中学校1年生少人数学習推進事業
 - ・小学校から中学校に通学した際に、生徒が中学校生活になじめず、不登校生が増加したり、学力差が生じたりなどの課題の改善を図り、中学校8年間の勝ち着いた学校生活を基盤とするため、中学校1年生に35人以下の少人数学習を実施する。
- ◎ みやぎ学力アップ支援事業
 - ・小学校5年生と中学校2年生を対象とした本県独自の学力調査の実施や地域の問題解決を図るための研修会や「WELLB」学習進捗評価システム」の活用により児童生徒の学力向上を支援する。
- 少人数指導推進モデル事業
 - ・小学校における個に応じたきめ細かな指導の充実と学力の向上を図るため、3～5年生の少人数指導を推進するとともに、総合的な学力向上対策を推進する。
- 高校生の学力向上支援事業
 - ・指導力の優れた教員を教科指導方向上支援教員とし、公開授業や研修会、高校3年生を対象とした合同学習会を実施することで、高校生の学力向上を図る。
- 理科支援員等配置事業
 - ・小学校の理科授業における「観察・実験」の充実や体系的な学習に関与する指導力の向上を図るため、小学校5・6年生の学級を対象として、理科支援員の配置などを行う。
- 外国語活動指導員養成事業
 - ・小学校学習指導要領に新設された「外国語活動」について、円滑に実施できるよう、実践的な研修を実施することで、小学校教諭の指導力の充実を図る。

173,794 教職員課

10,881 学校政策課

185,401 学校政策課

9,352 学校政策課

107,360 学校政策課

9,892 学校政策課

<p>施策6 人権が尊重される社会を目指す教育の推進</p>	<p>○ 人権教育資料作成事業 小学生、中学生、高校生、高校生とその保護者が、人権についてともに語り合うための資料を作成し、配付する。</p> <p>○ 「高校生による人権感覚あふれる人づくり」推進事業 社会的自立をむかえる高校生に、望ましい人権関係を構築する知識と技能を身に付けさせ、人権感覚の涵養を図るとともに、参加体験型学習の理論と指導技法を身に付けた指導者を養成する。</p> <p>○ 人権教育推進活動の充実 人権教育担当職員等の研修を行い、人権教育の指導者の質の向上を図る。</p>	<p>人権同和教育室 4,582</p> <p>人権同和教育室 1,501</p> <p>人権同和教育室 924</p>
<p>施策7 技術革新や国際化の進展に対応する教育の推進</p>	<p>○ 国際理解教育推進事業 英語教育の充実を図り国際理解教育を推進するため、外国語指導助手として外国青年を受け入れ、県立学校等の英語科の授業や総合的な学習の時間等で活用する。</p> <p>○ 科学夢チヤレンジ事業【再掲】 児童生徒の科学技術への興味関心を高めるため、科学実験・観察教室や県立科学技術体験学習合宿等を実施する。</p> <p>○ 理科支援員等配置事業 小学校の理科授業における「観察・実験」の充実や体系的な学習に関する指導力の向上を図るため、小学校5・6年生の学級を対象として、理科支援員の配置等を行う。</p> <p>○ 家庭・地域と連携した環境教育推進事業 家庭や地域の教育力を生かした、茶まりや広がりのある環境教育を展開していくため、地域との連携を重視した研究実践を行う。環境教育推進校において、児童生徒の卒業段階に応じた学習を深めることにも、その成果を県内に普及し、本県の環境教育の推進を図る。</p>	<p>学校政策課 175,079</p> <p>学校政策課 2,788</p> <p>学校政策課 22,799</p> <p>学校政策課 4,500</p>

〈平成24年度〉

教育施策	教育施策に対応する事業及び取組	予算(千円)	担当課
施策7 技術革新や国際化の進展に対応する教育の推進。	<p>○国際理解教育推進事業 英語教育の充実を図り国際理解教育を推進するため、外国語指導助手として外国青年を受け入れ、県立学校等の英語科の授業や総合的な学習の時間等で活用する。</p> <p>○家庭・地域と連携した環境教育推進事業 家庭や地域の教育力を生かした、読みや広がりのある環境教育を展開していくため、地域との連携を重視した研究実践を行う。環境教育推進校において、児童生徒の発達段階に応じた学習を深めるとともに、その成果を県内に普及し、本県の環境教育の推進を図る。</p>	170,709 4,300	学校政策課 学校政策課

施策の目標Ⅲ 自立した社会人、職業人を育む教育の推進

これからの社会を生きる子どもたちには、自立した一人の人間として力強くたくましく生き抜く力を育むとともに、郷土を愛し郷土を支え、その発展に貢献する気概に備え、地域や社会をよりよくしていく活動に積極的に関与し、自ら主体的に行動し、課題を解決し、社会をよりよくしていく力を育むことと、その発展に貢献することを目指す。

施策1 心豊かな子どもを育て、誇りや愛着を育む教育の推進	一貫教育普及・支援事業【再掲】 小中高校教職員相互理解を深める研究大会を開催するとともに、各学校のニーズに応えるための学校支援及び調査研究を実施し、一貫教育の普及・支援を行う。	1,905	学校政策課
	○小学校社会科副読本整備事業 自分たちの住んでいる地域の社会生活を総合的に理解できるようにするのと同時に、地域社会の一員としての自覚をもち、地域社会に対して誇りと愛情を育てる。	4,505	学校政策課
	○企業の力を教育に！「みやぎの教育」アシスト事業【再掲】 多様な教育活動の創出を図るため、企業（会社、個人事業所、NPO等）がもつ専門性や人材などの教育的価値を活用する教育支援システムを一層充実し、地域ぐるみの教育の普及・発展を図る。	3,767	生涯学習課
	○学びのきずな子ども教育支援事業【再掲】 子どもたちの教育支援を「県民総ぐるみ」で進めるための広報・啓発活動を行うとともに、「学校支援地域本部」と「放課後子ども教室」を全県的に展開し、学校・家庭・地域や企業・市民団体等が一体となって取り組む教育の推進を図る。	67,342	生涯学習課

<p>特別支援教育室</p>	<p>723</p>	<p>○修学旅行支援事業 前時、医師や看護師を同行させ、必要な支援を行う。 ○交流及び共同学習推進事業 特別支援学校の幼児児童生徒が、地域の小・中学校等と交流する場を設けることにより、社会参加するための生きたるの育成を図る。 ○人権啓発資料作成事業 小学生、中学生、高校生とその保護者が、人権について共に語り合うための資料を作成し、啓発を図る。 ○高校生による人権啓発あふれる人づくり推進事業 社会的自立をむかえる高校生に、望ましい人間関係を構築する知識と技能を身に付けさせ、人権感覚の高揚を図るとともに、参加体験型学習の理論と指導技法を身に付けた指導者を養成する。 ○人権教育推進態勢の充実 人権教育担当職員等の研修を行い、人権教育に係る指導者の質の向上を図る。</p>
<p>特別支援教育室</p>	<p>1,080</p>	<p>○修学旅行支援事業 前時、医師や看護師を同行させ、必要な支援を行う。 ○交流及び共同学習推進事業 特別支援学校の幼児児童生徒が、地域の小・中学校等と交流する場を設けることにより、社会参加するための生きたるの育成を図る。 ○人権啓発資料作成事業 小学生、中学生、高校生とその保護者が、人権について共に語り合うための資料を作成し、啓発を図る。 ○高校生による人権啓発あふれる人づくり推進事業 社会的自立をむかえる高校生に、望ましい人間関係を構築する知識と技能を身に付けさせ、人権感覚の高揚を図るとともに、参加体験型学習の理論と指導技法を身に付けた指導者を養成する。 ○人権教育推進態勢の充実 人権教育担当職員等の研修を行い、人権教育に係る指導者の質の向上を図る。</p>
<p>人権関係教育室</p>	<p>3,635</p>	<p>○修学旅行支援事業 前時、医師や看護師を同行させ、必要な支援を行う。 ○交流及び共同学習推進事業 特別支援学校の幼児児童生徒が、地域の小・中学校等と交流する場を設けることにより、社会参加するための生きたるの育成を図る。 ○人権啓発資料作成事業 小学生、中学生、高校生とその保護者が、人権について共に語り合うための資料を作成し、啓発を図る。 ○高校生による人権啓発あふれる人づくり推進事業 社会的自立をむかえる高校生に、望ましい人間関係を構築する知識と技能を身に付けさせ、人権感覚の高揚を図るとともに、参加体験型学習の理論と指導技法を身に付けた指導者を養成する。 ○人権教育推進態勢の充実 人権教育担当職員等の研修を行い、人権教育に係る指導者の質の向上を図る。</p>
<p>人権関係教育室</p>	<p>1,778</p>	<p>○修学旅行支援事業 前時、医師や看護師を同行させ、必要な支援を行う。 ○交流及び共同学習推進事業 特別支援学校の幼児児童生徒が、地域の小・中学校等と交流する場を設けることにより、社会参加するための生きたるの育成を図る。 ○人権啓発資料作成事業 小学生、中学生、高校生とその保護者が、人権について共に語り合うための資料を作成し、啓発を図る。 ○高校生による人権啓発あふれる人づくり推進事業 社会的自立をむかえる高校生に、望ましい人間関係を構築する知識と技能を身に付けさせ、人権感覚の高揚を図るとともに、参加体験型学習の理論と指導技法を身に付けた指導者を養成する。 ○人権教育推進態勢の充実 人権教育担当職員等の研修を行い、人権教育に係る指導者の質の向上を図る。</p>
<p>人権関係教育室</p>	<p>1,104</p>	<p>○修学旅行支援事業 前時、医師や看護師を同行させ、必要な支援を行う。 ○交流及び共同学習推進事業 特別支援学校の幼児児童生徒が、地域の小・中学校等と交流する場を設けることにより、社会参加するための生きたるの育成を図る。 ○人権啓発資料作成事業 小学生、中学生、高校生とその保護者が、人権について共に語り合うための資料を作成し、啓発を図る。 ○高校生による人権啓発あふれる人づくり推進事業 社会的自立をむかえる高校生に、望ましい人間関係を構築する知識と技能を身に付けさせ、人権感覚の高揚を図るとともに、参加体験型学習の理論と指導技法を身に付けた指導者を養成する。 ○人権教育推進態勢の充実 人権教育担当職員等の研修を行い、人権教育に係る指導者の質の向上を図る。</p>
<p>学校政策課</p>	<p>8,764</p>	<p>○国際学校「教育の情報化」推進推進事業 知識基盤社会、グローバル化の中で生きる生徒たちに求められる能力の一つである情報活用能力を育成するため、県立学校に情報通信技術（ICT）環境を整備し、教育の情報化を図る。 ○科学夢チャレンジ事業【再掲】 児童生徒の科学技術への興味関心を高めるため、科学実験・観察教室や最先端科学技術体験学習合宿等を実施する。 ○グローバル人材育成のための英語指導員強化支援事業 グローバル社会で求められる英語力を育成するために、外部機関と連携して生徒の英語力を検証し、教員の指導方法を改善するため、高校生への留学支援を行う。</p>
<p>学校政策課</p>	<p>2,738</p>	<p>○国際学校「教育の情報化」推進推進事業 知識基盤社会、グローバル化の中で生きる生徒たちに求められる能力の一つである情報活用能力を育成するため、県立学校に情報通信技術（ICT）環境を整備し、教育の情報化を図る。 ○科学夢チャレンジ事業【再掲】 児童生徒の科学技術への興味関心を高めるため、科学実験・観察教室や最先端科学技術体験学習合宿等を実施する。 ○グローバル人材育成のための英語指導員強化支援事業 グローバル社会で求められる英語力を育成するために、外部機関と連携して生徒の英語力を検証し、教員の指導方法を改善するため、高校生への留学支援を行う。</p>
<p>学校政策課</p>	<p>5,459</p>	<p>○国際学校「教育の情報化」推進推進事業 知識基盤社会、グローバル化の中で生きる生徒たちに求められる能力の一つである情報活用能力を育成するため、県立学校に情報通信技術（ICT）環境を整備し、教育の情報化を図る。 ○科学夢チャレンジ事業【再掲】 児童生徒の科学技術への興味関心を高めるため、科学実験・観察教室や最先端科学技術体験学習合宿等を実施する。 ○グローバル人材育成のための英語指導員強化支援事業 グローバル社会で求められる英語力を育成するために、外部機関と連携して生徒の英語力を検証し、教員の指導方法を改善するため、高校生への留学支援を行う。</p>
<p>学校政策課</p>	<p>19,875</p>	<p>○理科支援員派遣事業 小学校の理科授業における「観察・実験」の充実や体験的な学習に際する指導力の向上を図るため、小学校5・6年生の学級を対象として、理科支援員の派遣を行う。</p>

施策6 人権が尊重される社会を目指す教育の推進

施策7 技術革新や国際化の進展に対応する教育の推進

平成26年度宮崎県公立学校教員採用選考試験 実施要項

宮崎県教育委員会

宮崎県では、このような教員を求めています！

- ◎ 教育者としての高い使命感をもち、意欲にあふれる教員 (使命感・意欲)
- ◎ 教職教養、専門的知識・技能、必要な体力を基盤とした実践的指導力のある教員 (専門性・実践的指導力)
- ◎ 社会人としての幅広い教養と良識を身に付けた人間性豊かな教員 (社会性・人間性)
- ◎ 課題解決に向けて、自ら考え、自ら行動できる創造力のある教員 (課題解決力・創造力)

1 目的

宮崎県公立学校教員の採用候補者を選考するため実施する。

2 選考区分

教員採用選考試験は、以下の区分により実施する。

- (1) 一般選考試験
- (2) 特別選考試験

3 受験資格

次の各号のすべてに該当する者とします。

- (1) 地方公務員法第16条及び学校教育法第9条の欠格条項に該当しない者
- (2) 受験区分(中学校・高等学校・特別支援学校教諭等)にあつては受験教科(科目)等の普通免許状を所有する者
 - 特別支援学校教諭等の「知的他」においては、「知的障がい者に関する教育の領域」、「肢体不自由者に関する教育の領域」、「病弱者に関する教育の領域」のうち一つ以上の特別支援学校教員免許状を所有する者とします。
 - なお、特別支援学校教諭等において、盲学校教員免許状、聾学校教員免許状、養護学校教員免許状を所有している者は、それぞれ、「視覚障がい者に関する教育の領域」、「聴覚障がい者に関する教育の領域」、「知的障がい者に関する教育の領域」、「肢体不自由者に関する教育の領域」、「病弱者に関する教育の領域」に係る特別支援学校教員免許状を所有していることとみなします。
 - 免許状を所有する者については、平成26年3月末日までに取得見込の者を含みます。
- (3) 受験年齢に関しては、昭和48年4月2日以降出生の者とします。ただし、特別選考試験に関しては年齢制限はありません。

対 象 者	免除内容
【現職教員】 ○ 現在公立の小学校、中学校、高等学校又は特別支援学校の教諭・養護教諭・栄養教諭として勤務している者	第一次選考試験 「教職教養」 を免除する。
【元教員】 ○ 本県の公立の小学校、中学校、高等学校又は特別支援学校の教諭・養護教諭・栄養教諭としての勤務実績が2.4月以上ある者	
【英語優遇措置資格を有する者】 ○ 中学校又は高等学校の英語を受験する者で、以下の資格を有する者 ・ 実用英語技能検定（公益財団法人日本英語検定協会）1級合格者 ・ TOEFL（国際教育交換協議会）PBT597点以上又はiBT93点以上取得者 ・ TOEIC（一般財団法人国際ビジネスコミュニケーション協会）860点以上取得者 （※ I Pテストは対象外とする） ※ なお、実用英語技能検定、TOEFL、TOEICについては、出願時に要件を満たし、かつ、第一次選考試験時に有効なものに限ります。	第一次選考試験 「リスニング」 を免除する。

6. 第二次選考試験

(1) 期日

- 8月24日（土）から8月30日（金）まで（予定）のうち指定された2日間
- ※ 詳細については、後日、第一次選考試験合格者に通知します。

(2) 試験会場

- 県教育研修センター（宮崎市阿波岐原町前浜4276番地729）及び
- 県庁7号館（宮崎市旭1丁目3-6）

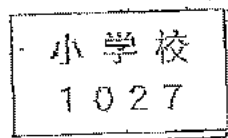
(3) 試験内容

- ア 「個人面接」、「模擬授業」、「場面指導・集団討論」、「適性検査」
- 「個人面接」において、小学校教諭等の受験者には、外国語活動で活用する簡単な英会話、中学校及び高等学校教諭等の「英語」受験者には、英会話を実施します。
- 「模擬授業」及び「場面指導・集団討論」の題材等については、当日お知らせします。
- 中学校及び高等学校保健体育の受験者は、一次試験の実技で使用したものと同様のゼッケンを用意してください。（模擬授業で使用します。）

イ 実技試験 ※以下の受験区分で実施します。

受験区分	内 容
小学校教諭等	音楽実技 共通教材（「茶つみ（第3学年）」「まきはの朝（第4学年）」 「ふるさと（第6学年）」）のうち当日指定する1曲を、ピアノ又はオルガンで弾きながら歌う。
特別支援学校教諭等	体育実技（器械運動 ※マット、鉄棒、跳び箱の中から当日指定）
養護教諭	体育実技（器械運動 ※マット、鉄棒、跳び箱の中から当日指定） 救急処置等に関する実技 ※内容は当日発表

- 小学校教諭等の受験者は、上記音楽実技に係る伴奏譜を3曲とも各自持参してください。伴奏譜は複製のものでも自作のものでもかまいません。
- 小学校及び特別支援学校教諭等の受験者は、受験番号を確認の上、下図のように受験番号を書いたゼッケンを2枚作製し、体育実技の際に着用するトレーニングシャツの前後に糸でめいつけてください。



30cm

23cm

白布に太字・黒字用油性ペンで大きくはっきり記入する。

1 (書類等の題名)

小学校英語教育に関する記事 (資料アー5)

設置の趣旨 (7 ページ)

2 (出典)

読賣新聞 2013 年 (平成 25 年) 5 月 18 日 (土曜日)

3 (引用範囲)

1 面

4 (その他の説明)

「宮崎国際大学教育学部児童教育学科設置に関するアンケート調査」

報 告 書

平成 25 年 5 月

一般財団法人 日本開発構想研究所

目 次

<アンケート調査概要>.....	1
<アンケート調査集計結果>.....	2
I 概要.....	2
II 教育学部児童教育学科の学生確保の見通し.....	6
<アンケート調査票>.....	13
<アンケート集計表>.....	17
<アンケートクロス集計表>.....	31

<アンケート調査概要>

1 実施アンケート

「宮崎国際大学教育学部児童教育学科設置に関するアンケート調査」

2 調査目的

宮崎国際大学における新学部設置に関して、高校生の高校卒業後の希望進路や新学部に対する進学意向等を把握することを目的とする。

3 実施時期

1回目：平成25年1月～2月

2回目：平成25年4月～5月

4 調査対象

既設学部のこれまでの入学者の約6割は宮崎県内出身者であること、また初等教育、幼児教育・保育系分野の志願者は比較的地元志向が強いことから、宮崎県内の高等学校に通学する高校生を調査対象とし、2回に分けて実施した。

1回目：主に普通科高校の高校2年生（約1,800人）

2回目：主に専門高校の高校3年生（約2,000人）

5 調査方法

各高等学校に訪問又は郵送により調査票を配布・回収

6 回収状況

1回目：有効回答票1,836票 回収率100%（21校回収／21校実施）

2回目：有効回答票2,013票 回収率100%（12校回収／12校実施）

合計：有効回答票3,849票（33校回収／33校実施）

<アンケート調査集計結果>

I 概要

1 性別（問1）

回答者の性別内訳は、女性が 56.8% (2,188 人)、男性が 43.1% (1,660 人) であり、女性が半数以上を占めている。

2 高校卒業後の希望進路（問2）

「大学進学」を希望する回答者が 44.9% (1,729 人) で最も多く、「就職」が 29.8% (1,148 人) で次に多い。このほか「専門学校進学」は 18.3% (703 人) であり、「短期大学進学」は 6.0% (231 人) である。

* 以下は、高校卒業後の希望進路（問2）で「大学」、「短期大学」もしくは「専門学校」への進学を希望している回答者（2,663 人。以下、「進学希望者全体」という。）の回答

3 進学を希望する分野（第1希望～第3希望）（問3）

【進学希望者全体】

注：【進学希望者全体】とは、本質問の回答者全体（2,663 人）のこと。（以下、同じ）

第1希望で最も多いのは「教育学・保育学関係」の 15.5% (414 人) であり、次いで「商学・経済学・経営学関係」11.3% (300 人) となっている。

第2希望では「教育学・保育学関係」11.1% (295 人)、「心理学関係」8.4% (225 人)、第3希望では「心理学関係」10.5% (280 人)、「教育学・保育学関係」9.3% (247 人) などの回答が多い。

【大学進学希望者】

注：【大学進学希望者】とは、本質問の回答者のうち、高校卒業後の希望進路（問2）で「大学進学」を回答した回答者（1,729 人）のこと。（以下、同じ）

第1希望、第2希望ともに最も回答が多いのは「教育学・保育学関係」であり、第1希望では 15.2% (262 人)、第2希望では 13.4% (231 人) が回答している。第3希望でも「教育学・保育学関係」は2番目に多く、10.2% (177 人) が回答している。

このほか、第1希望で多いのは「商学・経済学・経営学関係」14.9% (258 人)、第2希望及び第3希望では「心理学関係」が 10.4% (179 人)、12.0% (207 人) などとなっている。

4 進学先を決める際に特に重視する事柄（3つまでの複数回答）（問4）

【進学希望者全体】

「学部・学科の分野」が53.8%（1,432人）で最も多く、次いで「取得可能資格・免許」41.6%（1,108人）、「入試難易度・自分の学力」31.1%（827人）などの回答が多い。

【大学進学希望者】

「学部・学科の分野」が60.8%（1,052人）で最も多く、次いで「取得可能資格・免許」38.5%（666人）、「入試難易度・自分の学力」38.0%（657人）などの回答が多い。

5 小学校教諭一種免許状、幼稚園教諭一種免許状、保育士資格への関心度（問5）

① 小学校教諭一種免許状

【進学希望者全体】

「大変興味を感じる」は9.0%（241人）、「興味を感じる」は14.6%（388人）、「少し興味を感じる」は21.6%（574人）である。これらを合わせると、回答者の45.2%（1,203人）は小学校教諭一種免許状の取得に興味を持っていることになる。

【大学進学希望者】

「大変興味を感じる」は11.2%（193人）、「興味を感じる」は16.1%（279人）、「少し興味を感じる」は22.3%（386人）である。これらを合わせると、回答者の49.6%（858人）は小学校教諭一種免許状の取得に興味を持っていることになる。

② 幼稚園教諭一種免許状

【進学希望者全体】

「大変興味を感じる」は10.4%（278人）、「興味を感じる」は15.9%（424人）、「少し興味を感じる」は18.4%（491人）である。これらを合わせると、回答者の44.8%（1,193人）は幼稚園教諭一種免許状の取得に興味を持っていることになる。

【大学進学希望者】

「大変興味を感じる」は9.3%（161人）、「興味を感じる」は16.2%（280人）、「少し興味を感じる」は17.9%（310人）である。これらを合わせると、回答者の43.4%（751人）は幼稚園教諭一種免許状の取得に興味を持っていることになる。

③ 保育士資格

【進学希望者全体】

「大変興味を感じる」は 13.7% (364 人)、「興味を感じる」は 16.0% (425 人)、「少し興味を感じる」は 18.6% (494 人) である。これらを合わせると、回答者の 48.2% (1,283 人) は保育士資格の取得に興味を持っていることになる。

【大学進学希望者】

「大変興味を感じる」は 10.2% (177 人)、「興味を感じる」は 15.7% (271 人)、「少し興味を感じる」は 18.1% (313 人) である。これらを合わせると、回答者の 44.0% (761 人) は保育士資格の取得に興味を持っていることになる。

6 宮崎国際大学教育学部児童教育学科への進学希望 (問6)

【進学希望者全体】

最も積極的な回答である「進学を希望する」を回答したのは 1.2% (33 人) である。また、「一応進学を考える」は 2.0% (54 人)、「受験先の候補の一つとして考える」は 6.6% (175 人) である。

したがってこれらを合わせると、9.8% (262 人) は教育学部児童教育学科を受験する可能性があると考えられる。

【大学進学希望者】

最も積極的な回答である「進学を希望する」を回答したのは 0.9% (16 人) である。また、「一応進学を考える」は 2.2% (38 人)、「受験先の候補の一つとして考える」は 7.0% (121 人) である。

したがってこれらを合わせると、10.1% (175 人) は教育学部児童教育学科を受験する可能性があると考えられる。

* 以下は、宮崎国際大学教育学部児童教育学科への進学希望 (問6) で、「進学を希望する」、「一応進学を考える」もしくは「受験先の候補の一つとして考える」のいずれかを回答した回答者 (262 人。以下、「宮崎国際大学教育学部進学希望者全体」という。) の回答

7 免許・資格取得の組み合わせに係る希望 (第1希望、第2希望)

【宮崎国際大学教育学部進学希望者全体】

注：【宮崎国際大学教育学部進学希望者全体】とは、本質問の回答者全体 (262 人) のこと。

第1希望で最も回答が多いのは「幼稚園教諭+保育士」及び「小学校教諭+幼稚園教諭+保育士」であり、ともに23.7%（62人）が回答している。次いで多いのは「小学校教諭のみ」21.0%（55人）などとなっている。

第2希望では、「小学校教諭+幼稚園教諭+保育士」が21.0%（55人）で最も多く、次いで「小学校教諭+幼稚園教諭」19.1%（50人）、「小学校教諭+保育士」17.6%（46人）などとなっている。

【大学進学希望者で宮崎国際大学教育学部進学希望者】

注：【大学進学希望者で宮崎国際大学教育学部進学希望者】とは、本質問の回答者のうち、高校卒業後の希望進路（問2）で「大学進学」を回答した回答者（175人）のこと。

第1希望で最も回答が多いのは「小学校教諭+幼稚園教諭+保育士」であり、26.3%（46人）が回答している。次いで多いのは「小学校教諭のみ」25.7%（45人）、「幼稚園教諭+保育士」18.9%（33人）である。

第2希望では、「小学校教諭+幼稚園教諭」が24.6%（43人）で最も多く、次いで「小学校教諭+幼稚園教諭+保育士」21.7%（38人）、「小学校教諭+保育士」19.4%（34人）などとなっている。

II 教育学部児童教育学科の学生確保の見通し

1 教育学部児童教育学科への進学希望について

教育学部児童教育への進学希望（問6）を見ると、進学希望者全体では「進学を希望する」33人、「一応進学を考える」54人、「受験先の候補の一つとして考える」175人であり、大学進学希望者に限ってみると、「進学を希望する」16人、「一応進学を考える」38人、「受験先の候補の一つとして考える」121人である。

教育学部児童教育学科への進学に最も積極的な回答である「進学を希望する」を回答したのは進学希望者全体で33人であるが、この中には大学以外の進路（短期大学、専門学校）を希望している回答者が17人含まれている。したがって、実際に教育学部に進学することがより期待できるのは、大学進学を希望している16人と考えられる。

また、「一応進学を考える」を回答した回答者については、教育学部児童教育学科を進学先の候補の一つとして考えていると見られる。アンケート回答時は第1志望の大学をまだ絞りきっていない段階と考えられ、今後の広報活動などで教育学部児童教育学科の魅力伝えることができれば、第1志望に選ばれる可能性は十分にあると考えられる。

さらに、「受験先の候補の一つとして考える」を回答した回答者については、教育学部児童教育学科に関心はあるものの進学の意識はまだあまり強くないと考えられる。受験する可能性はあることから、潜在的な進学希望者と見ることはできよう。同様に、今後の広報活動などで魅力を伝えることができれば、第1志望に選ばれる可能性はあると考えられる。

表1 教育学部児童教育学科への進学希望(問6)

	進学を希望する	一応進学を考える	受験先の候補の一つとして考える	進学を希望しない	わからない	その他	不明	合計
進学希望者全体	33人 1.2%	54人 2.0%	175人 6.6%	1,747人 65.6%	580人 21.8%	2人 0.1%	72人 2.7%	2,663人 100.0%
大学進学希望者	16人 0.9%	38人 2.2%	121人 7.0%	1,120人 64.8%	412人 23.8%	0人 0.0%	22人 1.3%	1,729人 100.0%

2 大学進学希望者の進学希望分野及び免許・資格への興味について

<進学希望分野>

大学進学希望者の進学希望分野（問2）の第1希望を見ると、「教育学・保育学関係」が262人（15.2%）で最も多く、第2希望でも231人（13.4%）で最も多い。この結果から、大学進学希望者の中で「教育学・保育学関係」の学部学科は人気が高く、

他分野の学部学科よりも多くの志願者が見込まれると考えられる。

表2 大学進学希望者の進学希望分野(第1希望)

	文学関係 (史学・哲学含む)	外国語関係	心理学関係	教育学・保育学関係	法学・政治学関係	商学・経済学・経営学関係	社会学・社会福祉学関係	国際関係学関係	理学関係	工学関係	農学関係	医学・歯学・薬学関係	看護学関係	医療技術学関係 (理学療法・作業療法等)	家政学・生活科学関係	体育学・スポーツ関係	芸術学関係
第1希望	137 (7.9)	109 (6.3)	74 (4.3)	262 (15.2)	106 (6.1)	258 (14.9)	38 (2.2)	50 (2.9)	37 (2.1)	111 (6.4)	73 (4.2)	57 (3.3)	135 (7.8)	56 (3.2)	56 (3.2)	86 (5.0)	58 (3.4)
第2希望	120 (6.9)	129 (7.5)	179 (10.4)	231 (13.4)	83 (4.8)	123 (7.1)	84 (4.9)	119 (6.9)	78 (4.5)	61 (3.5)	40 (2.3)	43 (2.5)	66 (3.8)	119 (6.9)	45 (2.6)	85 (4.9)	63 (3.6)

注 上段は回答者数(人)、下段(括弧書き)は回答割合(%)。回答割合は、大学進学希望者は1,729人における割合。

<免許・資格への関心度>

大学進学希望者の小学校教諭一種免許状(以下「小免」という)、幼稚園教諭一種免許状(以下、「幼免」という)及び保育士資格(以下、「保育士」という)への関心度(問5①～③)を見ると、「大変興味を感じる」

表3 大学進学希望者の免許・資格への関心度

	大変興味を感じる	興味を感じる	少し興味を感じる	小計
小学校教諭一種免許状	193人 11.2%	279人 16.1%	386人 22.3%	858人 49.6%
幼稚園教諭一種免許状	161人 9.3%	280人 16.2%	310人 17.9%	751人 43.4%
保育士資格	177人 10.2%	271人 15.7%	313人 18.1%	761人 44.0%

注 下段(%)は、大学進学希望者(1,397人)に占める割合。

を回答したのは「小免」が193人(11.2%)、「幼免」が161人(9.3%)、「保育士」が177人(10.2%)である。いずれも大学進学希望者の1割程度が高い関心を示している。

また、「興味を感じる」及び「少し興味を感じる」まで含めると、「小免」に興味を感じるのは858人(49.6%)であり、「幼免」は751人(43.4%)、「保育士」は761人(44.0%)である。「小免」については大学進学希望者のほぼ半数が興味を感じており、「幼免」及び「保育士」についても大学進学希望者の4割以上が興味を感じている。

<大学進学希望者の進学希望分野及び免許・資格への興味>

大学進学希望者のうち進学希望分野(問2)の第1希望で「教育学・保育学関係」を回答した回答者(262人)の免許・資格への関心度を見ると、「小

表4 大学進学希望者のうち「教育学・保育学関係」を進学希望分野の第1希望としている回答者(262人)の免許・資格への関心度

	大変興味を感じる	興味を感じる	少し興味を感じる	あまり興味を感じない	興味を感じない	無回答	合計
小学校教諭一種免許状	102人 38.9%	62人 23.7%	49人 18.7%	28人 10.7%	13人 5.0%	8人 3.1%	262人 100.0%
幼稚園教諭一種免許状	83人 31.7%	71人 27.1%	30人 11.5%	32人 12.2%	31人 11.8%	15人 5.7%	262人 100.0%
保育士資格	86人 32.8%	55人 21.0%	35人 13.4%	28人 10.7%	40人 15.3%	18人 6.9%	262人 100.0%

注 下段(%)は、大学進学希望者で「教育学・保育学関係」を第1希望と回答した回答者(235人)に占める割合。

免」に大変興味を感じるのは 102 人 (38.9%)、「幼免」は 83 人 (31.7%)、「保育士」は 86 人 (32.8%) である。これらの回答者については、小学校教諭一種免許状、幼稚園教諭一種免許状あるいは保育士資格が取得できる大学の教育学・保育学系学部学科への関心が極めて高いと考えられ、実際にこれらの学部学科を受験する可能性が高いと考えられる。

また、それぞれ「興味を感じる」あるいは「少し興味を感じる」を回答した回答者まで含めると、「小免」については 213 人 (81.3%)、「幼免」は 184 人 (70.2%)、「保育士」は 176 人 (67.2%) となる。これらの回答者についても、小学校教諭一種免許状、幼稚園教諭一種免許状あるいは保育士資格が取得できる大学の教育学・保育学系学部学科を受験する可能性はあると考えられる。したがって、宮崎国際大学教育学部児童教育学科を受験する可能性はあると言えよう。

3 進学希望者推計

今回のアンケート調査は宮崎県内の高校 2 年生 3,849 人を対象に実施したものであり、県内の高校 2 年生 11,018 人 (平成 24 年度学校基本調査) の約 35% であることから、教育学部児童教育学科への進学希望 (問 6) の結果を踏まえ、宮崎県の 18 歳人口の動向及び大学志願率に基づき、宮崎県内の現役高校生における教育学部児童教育学科への進学希望者数について推計を行った。(別紙「推計方法及び推計結果」参照)

大学進学希望者で「進学を希望する」を回答した回答者の割合 (0.9%) に基づいて推計すると、開設年度 (平成 26 年度) の進学希望者は 38 人であり、入学定員 (50 人) の約 0.8 倍 (76%) である。27 年度から 29 年度 (完成年度) については、それぞれ 38 人 (0.8 倍)、37 人 (0.7 倍)、36 人 (0.7 倍) である。

表 5 教育学部児童教育学科に対する進学希望者数の推計

	H26 年度 (開設年度)	H27 年度	H28 年度	H29 年度 (完成年度)
教育学部進学希望者数 推計 A	38 人 (0.8 倍)	38 人 (0.8 倍)	37 人 (0.7 倍)	36 人 (0.7 倍)
教育学部進学希望者数 推計 B	130 人 (2.6 倍)	130 人 (2.6 倍)	129 人 (2.6 倍)	125 人 (2.5 倍)
教育学部進学希望者数 推計 C	424 人 (8.5 倍)	424 人 (8.5 倍)	419 人 (8.4 倍)	407 人 (8.1 倍)

注1 推計 A : 大学進学希望者の「進学を希望する」の回答割合 (0.9%) による推計

推計 B : 同「進学を希望する」+「一応進学を考える」の回答割合 (3.1%) による推計

推計 C : 同「進学を希望する」+「一応進学を考える」+「受験先の候補の一つとして考える」の回答割合 (10.1%) による推計

注2 () は教育学部児童教育学科の入学定員 50 人に対する倍率

次に、「進学を希望する」

(0.9%) に「一応進学を考える」(2.2%) を加えて推計すると、開設年度 (平成 26 年

度)の進学希望者は130人であり、入学定員(50人)の2.6倍である。27年度から29年度(完成年度)はそれぞれ130人(2.6倍)、129人(2.6倍)、125人(2.5倍)である。

さらに、「受験先の候補の一つとして考える」(7.0%)まで加えて推計すると、開設年度(平成26年度)の進学希望者は424人(8.5倍)、27年度から29年度(完成年度)はそれぞれ424人(8.5倍)、419人(8.4倍)、407人(8.1倍)である。

以上のことから、もっとも進学の可能性が高いと考えられる回答結果(「進学を希望する」を回答)に基づく推計では、入学定員の50人を県内の現役高校生だけで確保するのは難しいという結果となる。進学先の候補の一つとして進学の可能性を示唆しているレベル(「一応進学を考える」を回答)まで含めて推計すると、入学定員の2.5倍程度の進学希望者は見込まれる。さらに、受験するかどうかを検討しているレベル(「受験先の候補の一つとして考える」を回答)まで含めて推計すると、入学定員の8倍程度の進学希望者は見込まれる。

4 学生確保の見通し

今回のアンケートにおいて宮崎国際大学教育学部児童教育学科に強い進学意向を持っているのは(「進学を希望する」を回答したのは)実数で33人であり、そのうち大学進学を希望しているのは16人である。また、「進学を希望する」という回答結果に基づき、県内の現役高校生を対象に推計した進学希望者数は、教育学部開設年度(平成26年度)で38人である。

次に、進学の可能性を示唆しているのは(「一応進学を考える」を回答したのは)実数で54人であり、「進学を希望する」とした回答者と合わせると合計で87人になる。また、「進学を希望する」及び「一応進学を考える」の回答結果に基づく県内現役高校生に係る推計では、130人の進学希望者数が見込まれる。

以上のことから、宮崎県内の現役高校生を対象とした宮崎国際大学教育学部児童教育学科の学生確保の見通しは、強い進学意向を持つ生徒だけでは入学定員(50人)に満たないものの、進学する可能性がある生徒まで含めると入学定員を超える人数が見込まれることから、今後の受験生への募集広報活動により進学希望者をさらに増やすことが出来れば、定員確保は可能なレベルにあると考えられる。また、これに県内の過年度卒業生(いわゆる浪人生)や県外からの進学希望者が加われば、50人以上の入学希望者

を確保できることが期待される。

次に、潜在的なマーケットとして見ると、大学進学希望者において、進学したい分野の第1希望で最も回答が多かったのは「教育学・保育学関係」の262人であり、第2希望でも「教育学・保育学関係」が231人で最多となっている。

また、大学進学希望者の中で小学校教諭一種免許状、幼稚園教諭一種免許状及び保育士資格に対して「大変興味がある」を回答したのは、それぞれ193人、161人、177人であり、さらにこの中で「教育学・保育学関係」を進学先分野の第1希望にあげているのは、小学校教諭一種免許状では102人、幼稚園教諭一種免許状では83人、保育士資格では86人である。

以上のことから、初等教育や幼児教育・保育分野への進学を考えている高校生は多く、小学校教諭一種免許状、幼稚園教諭一種免許状及び保育士資格が取得できる宮崎国際大学教育学部児童教育学科にとっては、今回のアンケート結果だけでも200人を超える規模のマーケットがあると言えよう。アンケートに回答していない高校生や過年度卒業生（浪人生）まで含めれば、宮崎県内だけでもマーケットとしては数百人規模で存在すると考えられる。

現在、宮崎県内で初等教育や幼児教育・保育分野の学部学科を設置している大学は、宮崎大学教育文化学部学校教育課程初等教育コース（入学定員75人）と南九州大学人間発達学部子ども教育学科（入学定員80人）のみであり、入学定員の合計は155人である。これに宮崎国際大学教育学部児童教育学科の入学定員（50人）を加えても、宮崎県内の初等教育、幼児教育・保育分野の大学の入学定員は205人である。

したがって、マーケットという観点から見ても、宮崎国際大学教育学部児童教育学科において50人の学生を確保することは、十分可能な人数と考えられる。

「一応進学を考える」あるいは「受験先の候補の一つとして考える」を回答した回答者の中には、自由回答意見（問8）において「早く詳しい情報が欲しいです。」「ぜひ教育学部児童教育学科をつくってほしいです。もしかしたらお世話になるかもしれないので。」「ウェブサイト上でこの学部に関する情報を載せてほしい。受験科目や受験方法、またこの学部に関する情報の入ったパンフレットなどが手元に残せるようにしてほしい。」などの意見も見られる。

また、専門高校の生徒を中心に実施した2回目の調査では、「大学進学」を希望するのは332人(16.5%)であり、さらに宮崎国際大学教育学部児童教育学科に「進学を希望する」を回答したのは18人いたが、18人のうち「大学進学」希望者は5人であり、「短期大学進学」は4人、「専門学校進学」は9人である。これらのことから、専門高校の生徒の多くは、現時点では普通科高校の生徒と比べて大学進学に対する関心が相対的に低いと考えられるが、学びたい内容が用意されている大学があれば、大学進学に対する関心度は高くなる可能性はある。

こうしたことから、今後、教育学部児童教育学科の内容を受験生に丁寧に説明し、競合大学との違いや特色、魅力などをしっかりと伝えることができれば、50人を超える入学希望者を確保できる可能性は十分にあると考えられる。

表6 高校卒業後の希望進路

	1回目調査	2回目調査
大学進学	1,397(76.1%)	332(16.5%)
短期大学進学	96(5.2%)	135(6.7%)
専門学校進学	207(11.3%)	496(24.6%)
就職	120(6.5%)	1,028(51.1%)
その他	16(0.9%)	20(1.0%)
不明	0(0.0%)	2(0.1%)
合計	1,836(100.0%)	2,013(100.0%)

表7 宮崎国際大学教育学部児童教育学科に「進学を希望する」回答者の希望進路

	1回目調査	2回目調査	合計
大学進学	11	5	16
短期大学進学	1	4	5
専門学校進学	3	9	12
合計	15	18	33

(別紙)「推計方法及び推計結果」

- ・ はじめに、開設年度（平成 26 年度）の入学対象者である平成 25 年度の 18 歳人口から、完成年度（平成 29 年度）の入学対象者である平成 28 年度の 18 歳人口を算定。
- ・ 次に、平成 25 年度から 28 年度の 18 歳人口に宮崎県における現役高校生の大学志願率（実績値）を乗じて、各年度の大学志願者数（大学進学希望者数）を算定。
- ・ 最後に、各年度の大学志願者数に、アンケート調査の問 6（教育学部児童教育学科への進学希望）の回答割合（「進学を希望する」、「一応進学を考える」、「受験先の候補の一つとして考える」）を乗じて、各年度の教育学部児童教育学科への進学希望者数を算定。

表 8 教育学部児童教育学科開設年度から完成年度までの 18 歳人口及び大学志願者数（推計値）

	平成 25 年度 (H26.3 卒業) 開設年度	平成 26 年度 (H27.3 卒業)	平成 27 年度 (H28.3 卒業)	平成 28 年度 (H29.3 卒業) 完成年度
18 歳人口 ①	11,773 人	11,768 人	11,613 人	11,300 人
現役大学志願率 ②	35.7%			
大学志願者数 ①×②	4,203 人	4,201 人	4,146 人	4,034 人

注 1 18 歳人口…3 年前の中学校卒業生及び中等教育学校前期課程修了者

注 2 平成 24 年度（平成 25 年 3 月）以降の中学校卒業生数は確定できないことから、平成 27 年度及び 28 年度の 18 歳人口は、平成 24 年度の中学 3 年生及び中学 2 年生とした。

注 3 現役大学志願率…現役高校生における大学志願者数／当該年度の 18 歳人口

注 4 現役大学志願率は直近 5 年間の平均値（35.7%）を使用し、平成 28 年度まで固定。直近 5 年間の現役大学志願率は、H19 年度（H20.3 卒）：34.2%、H20 年度：35.9%、H21 年度：37.3%、H22 年度：36.2%、H23 年度：35.1%。

資料：「学校基本調査報告書」（文部科学省）

表 9 教育学部児童教育学科進学希望者数（推計値）

	平成 26 年度 (開設年度)	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度 (完成年度)
大学志願者数 ①	4,203 人	4,201 人	4,146 人	4,034 人
進学希望比率 ②	A（進学を希望する）…………… 0.9% B（一応進学を考える）…………… 2.2% C（受験先の候補の一つとして考える）… 7.0%			
進学希望者数 A ①×②-A	38 人	38 人	37 人	36 人
進学希望者数 B ①×②-B	92 人	92 人	91 人	89 人
進学希望者数 C ①×②-C	294 人	294 人	290 人	282 人

注 進学希望比率は、大学進学希望者における教育学部児童教育学科への進学希望比率（問 6）。

<アンケート調査票>

問4 あなたが進学先を決定する際に重視する事柄はどれですか。次の中から**3つまで**選んでください。

- | | |
|-----------------|--------------------|
| 1 学部・学科の分野 | 11 補習授業・生活指導等の学生支援 |
| 2 教育課程・カリキュラム | 12 立地場所 |
| 3 教育体制・教員組織 | 13 施設・設備等の教育研究環境 |
| 4 取得可能資格・免許 | 14 伝統・世間での評判 |
| 5 就職指導・キャリア教育 | 15 自分の性格・適性 |
| 6 就職実績・大学院等進学実績 | 16 担任や進路指導の先生の意見 |
| 7 入試難易度・自分の学力 | 17 家族（親や兄弟・姉妹）の意見 |
| 8 入試方法・入試科目 | 18 友人の意見 |
| 9 設置形態（国公立の別） | 19 大学の現役生や卒業生の意見 |
| 10 学費等のコスト面 | 20 その他（具体的に |

問5 あなたは①小学校教諭一種免許状、②幼稚園教諭一種免許状、③保育士資格の取得について、興味を感じますか。各免許・資格について、それぞれ次の中から**1つだけ**選んでください。

- 1 大変興味を感じる
- 2 興味を感じる
- 3 少し興味を感じる
- 4 あまり興味を感じない
- 5 興味を感じない

①小学校教諭一種免許状	②幼稚園教諭一種免許状	③保育士

問6 宮崎国際大学教育学部児童教育学科についておたずねします。

あなたは宮崎国際大学教育学部児童教育学科への進学を希望しますか。次の中から**1つだけ**選んでください。

- | | |
|-------------------|------------|
| 1 進学を希望する | 4 進学を希望しない |
| 2 一応進学を考える | 5 わからない |
| 3 受験先の候補の一つとして考える | 6 その他（具体的に |

--

問7 問6で「1」「2」「3」のいずれかを選択した方におたずねします。それ以外の方は問8へお進みください。

宮崎国際大学教育学部児童教育学科では、選択により小学校教諭一種免許状、幼稚園教諭一種免許状、保育士資格の取得が可能な教育プログラムを予定していますが、あなたはこれらの免許・資格の取得にあたり、どの組み合わせを希望しますか。次の中から**第2希望**まで選んでください。

- 1 小学校教諭のみ
- 2 幼稚園教諭のみ
- 3 保育士のみ
- 4 小学校教諭 + 幼稚園教諭
- 5 小学校教諭 + 保育士
- 6 幼稚園教諭 + 保育士
- 7 小学校教諭 + 幼稚園教諭 + 保育士

	第1希望
	第2希望

問8 宮崎国際大学について、ご意見・ご要望等がありましたら、ご自由にお書きください。

*** これでアンケートは終わりです。ご協力ありがとうございました。 ***

<アンケート集計表>

「宮崎国際大学教育学部児童教育学科設置に関するアンケート調査」回収表

No.	高校名	ナンバリング		回収数	備考
1	宮崎県立宮崎北高等学校	1	112	112	H24年
2	宮崎第一高等学校	113	158	46	1月・2月
3	宮崎県立大宮高等学校	159	268	110	実施
4	宮崎県立延岡星雲高等学校	269	380	112	21校
5	宮崎県立小林高等学校	381	483	103	
6	宮崎県立日南高等学校	484	581	98	
7	宮崎県立日向高等学校	582	649	68	
8	宮崎県立高鍋高等学校	650	747	98	
9	延岡学園高等学校	748	802	55	
10	宮崎県立延岡高等学校	803	909	107	
11	宮崎県立都城泉ヶ丘高等学校	910	976	67	
12	宮崎県立妻高等学校	977	1066	90	
13	宮崎県立福島高等学校	1067	1123	57	
14	日向学院高等学校	1124	1188	65	
15	宮崎県立宮崎西高等学校	1189	1292	104	
16	宮崎県立都城西高等学校	1293	1377	85	
17	宮崎県立宮崎南高等学校	1378	1497	120	
18	宮崎県立飯野高等学校	1498	1570	73	
19	宮崎県立高城高等学校	1571	1683	113	
20	宮崎日本大学高等学校	1684	1764	81	
21	日南学園高等学校	1765	1836	72	
1回目		計		1,836	
22	宮崎県立西都商業高校	1837	1942	106	H25年
23	宮崎県立都城農業高校	1943	2134	192	4月
24	宮崎県立宮崎農業高校	2135	2242	108	実施
25	宮崎県立富島高校	2243	2429	187	12校
26	宮崎県立都城商業高校	2430	2623	194	
27	宮崎県立宮崎商業高校	2624	2883	260	
28	宮崎県立宮崎工業高校	2884	3149	266	
29	宮崎県立都農高校	3150	3206	57	
30	宮崎県立延岡商業高校	3207	3396	190	
31	宮崎県立都城工業高校	3397	3632	236	
32	宮崎県立日南振徳高校	3633	3779	147	
33	宮崎県立佐土原高校	3780	3849	70	
2回目		計		2,013	
1回目+2回目		合計		3,849	33校

「宮崎国際大学教育学部児童教育学科設置に関するアンケート調査」集計表

[有効回答票：1回目：1,836票 2回目：2,013票 合計：3,849票]

表10 問1 あなたの性別についておたずねします。

No.	カテゴリ	1回目		2回目		合計	
		回答者数 (人)	回答割合 (%)	回答者数 (人)	回答割合 (%)	回答者数 (人)	回答割合 (%)
1	男性	769	41.9	891	44.3	1,660	43.1
2	女性	1,066	58.1	1,122	55.7	2,188	56.8
	不明	1	0.1	0	0.0	1	0.0
	合計	1,836	100.0	2,013	100.0	3,849	100.0

表11 問2 あなたの進路についておたずねします。

あなたは高校卒業後どのような進路をお考えですか。

No.	カテゴリ	1回目		2回目		合計	
		回答者数 (人)	回答割合 (%)	回答者数 (人)	回答割合 (%)	回答者数 (人)	回答割合 (%)
1	大学進学	1,397	76.1	332	16.5	1,729	44.9
2	短期大学進学	96	5.2	135	6.7	231	6.0
3	専門学校進学	207	11.3	496	24.6	703	18.3
4	就職	120	6.5	1,028	51.1	1,148	29.8
5	その他	16	0.9	20	1.0	36	0.9
	不明	0	0.0	2	0.1	2	0.1
	合計	1,836	100.0	2,013	100.0	3,849	100.0

【問3以降は、問2で「大学進学」「短期大学進学」「専門学校進学」と回答した者への設問】

(N=1回目1,700票 2回目963票 合計2,663票)

表1.2 問3 あなたが進学したい分野はどれですか。

<1回目>

No.	カテゴリ	第1希望		第2希望		第3希望	
		回答者数 (人)	回答割合 (%)	回答者数 (人)	回答割合 (%)	回答者数 (人)	回答割合 (%)
1	文学関係(史学・哲学含む)	133	7.8	105	6.2	144	8.5
2	外国語関係	104	6.1	111	6.5	104	6.1
3	心理学関係	66	3.9	183	10.8	199	11.7
4	教育学・保育学関係	294	17.3	212	12.5	169	9.9
5	法学・政治学関係	104	6.1	65	3.8	70	4.1
6	商学・経済学・経営学関係	157	9.2	111	6.5	110	6.5
7	社会学・社会福祉学関係	38	2.2	82	4.8	111	6.5
8	国際関係学関係	49	2.9	110	6.5	95	5.6
9	理学関係	40	2.4	73	4.3	56	3.3
10	工学関係	104	6.1	53	3.1	32	1.9
11	農学関係	56	3.3	41	2.4	56	3.3
12	医学・歯学・薬学関係	67	3.9	48	2.8	47	2.8
13	看護学関係	170	10.0	81	4.8	62	3.6
14	医療技術学関係 (理学療法・作業療法等)	73	4.3	131	7.7	78	4.6
15	家政学・生活科学関係	66	3.9	53	3.1	55	3.2
16	体育学・スポーツ関係	62	3.6	78	4.6	85	5.0
17	芸術学関係	59	3.5	72	4.2	71	4.2
18	その他	55	3.2	14	0.8	25	1.5
	不明	3	0.2	77	4.5	131	7.7
	合計	1,700	100.0	1,700	100.0	1,700	100.0

表 1 3 < 2 回目 >

No.	カテゴリ	第 1 希望		第 2 希望		第 3 希望	
		回答者数 (人)	回答割合 (%)	回答者数 (人)	回答割合 (%)	回答者数 (人)	回答割合 (%)
1	文学関係(史学・哲学含む)	10	1.0	38	3.9	39	4.0
2	外国語関係	28	2.9	44	4.6	42	4.4
3	心理学関係	11	1.1	42	4.4	81	8.4
4	教育学・保育学関係	120	12.5	83	8.6	78	8.1
5	法学・政治学関係	12	1.2	27	2.8	13	1.3
6	商学・経済学・経営学関係	143	14.8	75	7.8	61	6.3
7	社会学・社会福祉学関係	7	0.7	32	3.3	33	3.4
8	国際関係学関係	9	0.9	39	4.0	39	4.0
9	理学関係	4	0.4	18	1.9	6	0.6
10	工学関係	42	4.4	21	2.2	28	2.9
11	農学関係	42	4.4	21	2.2	29	3.0
12	医学・歯学・薬学関係	38	3.9	45	4.7	44	4.6
13	看護学関係	94	9.8	55	5.7	66	6.9
14	医療技術学関係 (理学療法・作業療法等)	81	8.4	86	8.9	56	5.8
15	家政学・生活科学関係	38	3.9	60	6.2	49	5.1
16	体育学・スポーツ関係	43	4.5	68	7.1	58	6.0
17	芸術学関係	86	8.9	62	6.4	42	4.4
18	その他	144	15.0	16	1.7	18	1.9
	不明	11	1.1	131	13.6	181	18.8
	合 計	963	100.0	963	100.0	963	100.0

表 1 4 <合計>

No.	カテゴリ	第 1 希望		第 2 希望		第 3 希望	
		回答者数 (人)	回答割合 (%)	回答者数 (人)	回答割合 (%)	回答者数 (人)	回答割合 (%)
1	文学関係(史学・哲学含む)	143	5.4	143	5.4	183	6.9
2	外国語関係	132	5.0	155	5.8	146	5.5
3	心理学関係	77	2.9	225	8.4	280	10.5
4	教育学・保育学関係	414	15.5	295	11.1	247	9.3
5	法学・政治学関係	116	4.4	92	3.5	83	3.1
6	商学・経済学・経営学関係	300	11.3	186	7.0	171	6.4
7	社会学・社会福祉学関係	45	1.7	114	4.3	144	5.4
8	国際関係学関係	58	2.2	149	5.6	134	5.0
9	理学関係	44	1.7	91	3.4	62	2.3
10	工学関係	146	5.5	74	2.8	60	2.3
11	農学関係	98	3.7	62	2.3	85	3.2
12	医学・歯学・薬学関係	105	3.9	93	3.5	91	3.4
13	看護学関係	264	9.9	136	5.1	128	4.8
14	医療技術学関係 (理学療法・作業療法等)	154	5.8	217	8.1	134	5.0
15	家政学・生活科学関係	104	3.9	113	4.2	104	3.9
16	体育学・スポーツ関係	105	3.9	146	5.5	143	5.4
17	芸術学関係	145	5.4	134	5.0	113	4.2
18	その他	199	7.5	30	1.1	43	1.6
	不明	14	0.5	208	7.8	312	11.7
	合 計	2,663	100.0	2,663	100.0	2,663	100.0

表 15 問4 あなたが進学先を決定する際に重視する事柄はどれですか。(3つまでの複数回答)

No.	カテゴリ	1回目		2回目		合計	
		回答者数 (人)	回答割合 (%)	回答者数 (人)	回答割合 (%)	回答者数 (人)	回答割合 (%)
1	学部・学科の分野	986	58.0	446	46.3	1,432	53.8
2	教育課程・カリキュラム	410	24.1	192	19.9	602	22.6
3	教育体制・教員組織	112	6.6	66	6.9	178	6.7
4	取得可能資格・免許	735	43.2	373	38.7	1,108	41.6
5	就職活動・キャリア教育	98	5.8	66	6.9	164	6.2
6	就職実績・大学院等進学実績	282	16.6	197	20.5	479	18.0
7	入試難易度・自分の学力	649	38.2	178	18.5	827	31.1
8	入試方法・入試科目	125	7.4	61	6.3	186	7.0
9	設置形態(国公立の別)	44	2.6	5	0.5	49	1.8
10	学費等のコスト面	385	22.6	334	34.7	719	27.0
11	補習授業・生活指導等の学生支援	19	1.1	18	1.9	37	1.4
12	立地場所	300	17.6	112	11.6	412	15.5
13	施設・設備等の教育研究環境	162	9.5	134	13.9	296	11.1
14	伝統・世間での評判	82	4.8	37	3.8	119	4.5
15	自分の性格・適性	297	17.5	222	23.1	519	19.5
16	担任や進路指導の先生の意見	47	2.8	81	8.4	128	4.8
17	家族(親や兄弟・姉妹)の意見	162	9.5	143	14.8	305	11.5
18	友人の意見	17	1.0	29	3.0	46	1.7
19	大学の現役生や卒業生の意見	48	2.8	66	6.9	114	4.3
20	その他	14	0.8	11	1.1	25	0.9
	不明	24	1.4	16	1.7	40	1.5
	合計	1,700	100.0	963	100.0	2,663	100.0

(複数回答の為、回答者数の合計と合計欄は一致しない。)

表16 問5① 小学校教諭一種免許状の取得について、興味を感じますか。

No.	カテゴリ	1回目		2回目		合計	
		回答者数 (人)	回答割合 (%)	回答者数 (人)	回答割合 (%)	回答者数 (人)	回答割合 (%)
1	大変興味を感じる	178	10.5	63	6.5	241	9.0
2	興味を感じる	269	15.8	119	12.4	388	14.6
3	少し興味を感じる	387	22.8	187	19.4	574	21.6
4	あまり興味を感じない	414	24.4	238	24.7	652	24.5
5	興味を感じない	400	23.5	293	30.4	693	26.0
	不明	52	3.1	63	6.5	115	4.3
	合計	1,700	100.0	963	100.0	2,663	100.0

表17 ② 幼稚園教諭一種免許状の取得について、興味を感じますか。

No.	カテゴリ	1回目		2回目		合計	
		回答者数 (人)	回答割合 (%)	回答者数 (人)	回答割合 (%)	回答者数 (人)	回答割合 (%)
1	大変興味を感じる	185	10.9	93	9.7	278	10.4
2	興味を感じる	280	16.5	144	15.0	424	15.9
3	少し興味を感じる	309	18.2	182	18.9	491	18.4
4	あまり興味を感じない	416	24.5	205	21.3	621	23.3
5	興味を感じない	439	25.8	267	27.7	706	26.5
	不明	71	4.2	72	7.5	143	5.4
	合計	1,700	100.0	963	100.0	2,663	100.0

表18 ③ 保育士資格の取得について、興味を感じますか。

No.	カテゴリ	1回目		2回目		合計	
		回答者数 (人)	回答割合 (%)	回答者数 (人)	回答割合 (%)	回答者数 (人)	回答割合 (%)
1	大変興味を感じる	223	13.1	141	14.6	364	13.7
2	興味を感じる	275	16.2	150	15.6	425	16.0
3	少し興味を感じる	312	18.4	182	18.9	494	18.6
4	あまり興味を感じない	380	22.4	175	18.2	555	20.8
5	興味を感じない	451	26.5	257	26.7	708	26.6
	不明	59	3.5	58	6.0	117	4.4
	合計	1,700	100.0	963	100.0	2,663	100.0

表19 問6 あなたは宮崎国際大学教育学部児童教育学科への進学を希望しますか。

No.	カテゴリ	1回目		2回目		合計	
		回答者数 (人)	回答割合 (%)	回答者数 (人)	回答割合 (%)	回答者数 (人)	回答割合 (%)
1	進学を希望する	15	0.9	18	1.9	33	1.2
2	一応進学を考える	42	2.5	12	1.2	54	2.0
3	受験先の候補の一つとして考える	132	7.8	43	4.5	175	6.6
4	進学を希望しない	1,073	63.1	674	70.0	1,747	65.6
5	わからない	414	24.4	166	17.2	580	21.8
6	その他	0	0.0	2	0.2	2	0.1
	不明	24	1.4	48	5.0	72	2.7
	合計	1,700	100.0	963	100.0	2,663	100.0

表20 〔調査高校ごとの結果〕

(単位：人)

	進学を 希望する	一応進学を 考える	受験先の候補の一 つとして考える	計
全 体	33	54	175	262
1回目	15	42	132	189
宮崎県立宮崎北高等学校	—	1	15	16
宮崎第一高等学校	1	2	6	9
宮崎県立大宮高等学校	1	1	4	6
宮崎県立延岡星雲高等学校	1	4	3	8
宮崎県立小林高等学校	—	2	6	8
宮崎県立日南高等学校	—	5	6	11
宮崎県立日向高等学校	1	3	10	14
宮崎県立高鍋高等学校	—	1	7	8
延岡学園高等学校	1	2	—	3
宮崎県立延岡高等学校	—	—	9	9
宮崎県立都城泉ヶ丘高等学校	—	1	4	5
宮崎県立妻高等学校	—	2	4	6
宮崎県立福島高等学校	—	3	1	4
日向学院高等学校	2	3	6	11
宮崎県立宮崎西高等学校	2	1	4	7
宮崎県立都城西高等学校	—	2	10	12
宮崎県立宮崎南高等学校	3	3	13	19
宮崎県立飯野高等学校	—	2	1	3
宮崎県立高城高等学校	2	3	13	18
宮崎日本大学高等学校	1	1	5	7
日南学園高等学校	—	—	5	5
2回目	18	12	43	73
宮崎県立西都商業高校	—	—	1	1
宮崎県立都城農業高校	3	4	5	12
宮崎県立宮崎農業高校	1	—	6	7
宮崎県立富島高校	1	—	6	7
宮崎県立都城商業高校	5	4	10	19
宮崎県立宮崎商業高校	—	2	5	7
宮崎県立宮崎工業高校	2	—	2	4
宮崎県立都農高校	1	—	—	1
宮崎県立延岡商業高校	3	1	4	8
宮崎県立都城工業高校	1	1	3	5
宮崎県立日南振徳高校	1	—	1	2
宮崎県立佐土原高校	—	—	—	—

問7 宮崎国際大学教育学部児童教育学科では、選択により小学校教諭一種免許状、幼稚園教諭一種免許状、保育士資格の取得が可能な教育プログラムを予定していますが、あなたはこれらの免許・資格の取得にあたり、どの組み合わせを希望しますか。

(問6で「進学を希望する」「一応進学を考える」「受験先の候補の一つとして考える」と回答した者への設問)

(N=1回目 189票 2回目 73票 合計 262票)

表2.1 <1回目>

No.	カテゴリ	第1希望		第2希望	
		回答者数(人)	回答割合(%)	回答者数(人)	回答割合(%)
1	小学校教諭のみ	43	22.8	15	7.9
2	幼稚園教諭のみ	5	2.6	14	7.4
3	保育士のみ	7	3.7	11	5.8
4	小学校教諭+幼稚園教諭	27	14.3	42	22.2
5	小学校教諭+保育士	18	9.5	36	19.0
6	幼稚園教諭+保育士	39	20.6	21	11.1
7	小学校教諭+幼稚園教諭+保育士	46	24.3	38	20.1
	不明	4	2.1	12	6.3
	合計	189	100.0	189	100.0

表2.2 <2回目>

No.	カテゴリ	第1希望		第2希望	
		回答者数(人)	回答割合(%)	回答者数(人)	回答割合(%)
1	小学校教諭のみ	12	16.4	1	1.4
2	幼稚園教諭のみ	1	1.4	8	11.0
3	保育士のみ	7	9.6	9	12.3
4	小学校教諭+幼稚園教諭	6	8.2	8	11.0
5	小学校教諭+保育士	2	2.7	10	13.7
6	幼稚園教諭+保育士	23	31.5	14	19.2
7	小学校教諭+幼稚園教諭+保育士	16	21.9	17	23.3
	不明	6	8.2	6	8.2
	合計	73	100.0	73	100.0

表2.3 <合計>

No.	カテゴリ	第1希望		第2希望	
		回答者数(人)	回答割合(%)	回答者数(人)	回答割合(%)
1	小学校教諭のみ	55	21.0	16	6.1
2	幼稚園教諭のみ	6	2.3	22	8.4
3	保育士のみ	14	5.3	20	7.6
4	小学校教諭+幼稚園教諭	33	12.6	50	19.1
5	小学校教諭+保育士	20	7.6	46	17.6
6	幼稚園教諭+保育士	62	23.7	35	13.4
7	小学校教諭+幼稚園教諭+保育士	62	23.7	55	21.0
	不明	10	3.8	18	6.9
	合計	262	100.0	262	100.0

表 2 4 問 8 宮崎国際大学について、ご意見・ご要望等がありましたら、ご自由にお書きください。

< 1 回目 >

自由回答意見	教育学部への進学希望(問6)
早く詳しい情報が欲しいです。	受験先の候補の一つとして考える
がんばってください。	進学を希望しない
ぜひ教育学部児童教育学科をつくってほしいです。もしかしたらお世話になるかもしれないので。	一応進学を考える
少ないかもしれませんが、外国語に力を入れる看護学科など希望者がいると思います。	進学を希望しない
宮崎県において、保育・児童教育を大学で行うのは困難かと思います。	進学を希望しない
周りに何もなくて、少しつまらないのと不便そう。	進学を希望しない
英語がとても伸びると思う。	一応進学を考える
がんばってください。	進学を希望しない
できたらいいですね。	受験先の候補の一つとして考える
できたらいいと思いますよ。	わからない
保育士の資格が取れることを初めて知った。	わからない
音楽教育はどのようなものか。	一応進学を考える
頑張れ！	進学を希望しない
なぜ中等(中学・高校)学科がないのか？	わからない
頑張って下さい。	進学を希望しない
頑張って下さい。	わからない
ウェブサイト上でこの学部に関する情報を載せてほしい。受験科目や受験方法、またこの学部に関する情報の入ったパンフレットなどが手元に残せるようにしてほしい。	受験先の候補の一つとして考える
医療系の学部を開いてほしい。	わからない
宮崎ユニバーサル大学にしたらどうです？	進学を希望する
おそらく入学しません。すみません。	進学を希望しない
占いがしたい。	不明
英語漬けというイメージです。英語が本当に苦手なんでもやっっていけるのですか。	進学を希望しない
今までこの大学自体を自分の進路の視野に入れていなかったですが、新しい学部・学科ができるのを知って、この大学に興味を持ち、自分の進路にあっていいる大学を見つけることができました。国公立で県内にある大学で幼稚園教諭の資格を取れる大学がなく困っていましたが、この大学を見た瞬間進学を決めました。	進学を希望する
入学金や入学後の費用についての詳細の提示。	不明
学費(初年度納入金)が少し高いと思う。	わからない
新しい学科が増え、いろいろな場所で活躍する人たちが、これから増えていけばいいなと思います。	わからない

表 2 5 < 2 回目 >

自由回答意見	教育学部への進学希望(問6)
すばらしい。	不明
校舎がすてき。	進学を希望しない
ナイスアンケート！	進学を希望しない
良いと思います。	不明
コストが高い。	進学を希望しない
しいていうなら高い。	進学を希望しない
宮崎国際大学のオープンキャンパスに参加させていただいて、とても魅力的な大学だなと感じました。	わからない
やはり学費が高額なので受験者が減っていると思う。特待生の制度が必要。	進学を希望しない
設置されるのであれば進学したいと思う。三つの資格が卒業と同時に取得できるのならば行きたい。	一応進学を考える
中学・高校教諭免許が取れるなら行きたい。	わからない
特待生制があるのか気になる。	受験先の候補の一つとして考える
少しは興味がある。	わからない

<アンケートクロス集計表>

表 2.6 問 2 高校卒業後の進路 × 問 1 性別

上段:回答者数(人) 下段:回答割合(%)		問 2 高校卒業後の進路						
		合計	大学進学	短期大学 進学	専門学校 進学	就 職	その他	不明
問 1 性別	全体	3849 100.0	1729 44.9	231 6.0	703 18.3	1148 29.8	36 0.9	2 0.1
	男性	1660 100.0	760 45.8	15 0.9	234 14.1	634 38.2	17 1.0	- -
	女性	2188 100.0	968 44.2	216 9.9	469 21.4	514 23.5	19 0.9	2 0.1
	不明	1 100.0	1 100.0	- -	- -	- -	- -	- -

表27 問2 高校卒業後の進路 × 問3 進学したい分野（第1希望）

上段:回答者数(人)		問2 高校卒業後の進路			
下段:回答割合(%)		合計	大学進学	短期大学進学	専門学校進学
問3 進学したい分野(第1希望)	全体	2663 100.0	1729 100.0	231 100.0	703 100.0
	文学関係(史学・哲学含む)	143 5.4	137 7.9	2 0.9	4 0.6
	外国語関係	132 5.0	109 6.3	10 4.3	13 1.8
	心理学関係	77 2.9	74 4.3	- -	3 0.4
	教育学・保育学関係	414 15.5	262 15.2	138 59.7	14 2.0
	法学・政治学関係	116 4.4	106 6.1	1 0.4	9 1.3
	商学・経済学・経営学関係	300 11.3	258 14.9	12 5.2	30 4.3
	社会学・社会福祉学関係	45 1.7	38 2.2	3 1.3	4 0.6
	国際関係学関係	58 2.2	50 2.9	3 1.3	5 0.7
	理学関係	44 1.7	37 2.1	- -	7 1.0
	工学関係	146 5.5	111 6.4	1 0.4	34 4.8
	農学関係	98 3.7	73 4.2	4 1.7	21 3.0
	医学・歯学・薬学関係	105 3.9	57 3.3	4 1.7	44 6.3
	看護学関係	264 9.9	135 7.8	3 1.3	126 17.9
	医療技術学関係(理学療法・作業療法等)	154 5.8	56 3.2	4 1.7	94 13.4
	家政学・生活科学関係	104 3.9	56 3.2	20 8.7	28 4.0
	体育学・スポーツ関係	105 3.9	86 5.0	2 0.9	17 2.4
	芸術学関係	145 5.4	58 3.4	18 7.8	69 9.8
	その他	199 7.5	24 1.4	5 2.2	170 24.2
	不明	14 0.5	2 0.1	1 0.4	11 1.6

表28 問2 高校卒業後の進路 × 問3 進学したい分野（第2希望）

上段:回答者数(人)		問2 高校卒業後の進路			
下段:回答割合(%)		合計	大学進学	短期大学進学	専門学校進学
問3 進学したい分野(第1希望)	全体	2663 100.0	1729 100.0	231 100.0	703 100.0
	文学関係(史学・哲学含む)	143 5.4	120 6.9	10 4.3	13 1.8
	外国語関係	155 5.8	129 7.5	6 2.6	20 2.8
	心理学関係	225 8.4	179 10.4	18 7.8	28 4.0
	教育学・保育学関係	295 11.1	231 13.4	13 5.6	51 7.3
	法学・政治学関係	92 3.5	83 4.8	1 0.4	8 1.1
	商学・経済学・経営学関係	186 7.0	123 7.1	12 5.2	51 7.3
	社会学・社会福祉学関係	114 4.3	84 4.9	13 5.6	17 2.4
	国際関係学関係	149 5.6	119 6.9	13 5.6	17 2.4
	理学関係	91 3.4	78 4.5	2 0.9	11 1.6
	工学関係	74 2.8	61 3.5	1 0.4	12 1.7
	農学関係	62 2.3	40 2.3	5 2.2	17 2.4
	医学・歯学・薬学関係	93 3.5	43 2.5	6 2.6	44 6.3
	看護学関係	136 5.1	66 3.8	22 9.5	48 6.8
	医療技術学関係(理学療法・作業療法等)	217 8.1	119 6.9	14 6.1	84 11.9
	家政学・生活科学関係	113 4.2	45 2.6	31 13.4	37 5.3
	体育学・スポーツ関係	146 5.5	85 4.9	9 3.9	52 7.4
	芸術学関係	134 5.0	63 3.6	12 5.2	59 8.4
	その他	30 1.1	8 0.5	5 2.2	17 2.4
	不明	208 7.8	53 3.1	38 16.5	117 16.6

表29 問2 高校卒業後の進路 × 問3 進学したい分野（第3希望）

上段:回答者数(人)		問2 高校卒業後の進路			
下段:回答割合(%)		合計	大学進学	短期大学進学	専門学校進学
問3 進学したい分野(第1希望)	全体	2663 100.0	1729 100.0	231 100.0	703 100.0
	文学関係(史学・哲学含む)	183 6.9	163 9.4	8 3.5	12 1.7
	外国語関係	146 5.5	120 6.9	11 4.8	15 2.1
	心理学関係	280 10.5	207 12.0	24 10.4	49 7.0
	教育学・保育学関係	247 9.3	177 10.2	10 4.3	60 8.5
	法学・政治学関係	83 3.1	74 4.3	1 0.4	8 1.1
	商学・経済学・経営学関係	171 6.4	125 7.2	11 4.8	35 5.0
	社会学・社会福祉学関係	144 5.4	112 6.5	9 3.9	23 3.3
	国際関係学関係	134 5.0	102 5.9	10 4.3	22 3.1
	理学関係	62 2.3	49 2.8	4 1.7	9 1.3
	工学関係	60 2.3	37 2.1	1 0.4	22 3.1
	農学関係	85 3.2	58 3.4	7 3.0	20 2.8
	医学・歯学・薬学関係	91 3.4	44 2.5	8 3.5	39 5.5
	看護学関係	128 4.8	58 3.4	28 12.1	42 6.0
	医療技術学関係(理学療法・作業療法等)	134 5.0	75 4.3	13 5.6	46 6.5
	家政学・生活科学関係	104 3.9	43 2.5	16 6.9	45 6.4
	体育学・スポーツ関係	143 5.4	89 5.1	9 3.9	45 6.4
	芸術学関係	113 4.2	76 4.4	9 3.9	28 4.0
	その他	43 1.6	19 1.1	7 3.0	17 2.4
	不明	312 11.7	101 5.8	45 19.5	166 23.6

表30 問2 高校卒業後の進路 × 問4 進学先を決定する際に重視する事柄（複数回答）

上段:回答者数(人)		問2 高校卒業後の進路			
下段:回答割合(%)		合計	大学進学	短期大学進学	専門学校進学
問4 進学先を決定する際に重視する事柄(複数回答)	全体	2663 100.0	1729 100.0	231 100.0	703 100.0
	学部・学科の分野	1432 53.8	1052 60.8	109 47.2	271 38.5
	教育課程・カリキュラム	602 22.6	419 24.2	50 21.6	133 18.9
	教育体制・教員組織	178 6.7	116 6.7	21 9.1	41 5.8
	取得可能資格・免許	1108 41.6	666 38.5	139 60.2	303 43.1
	就職活動・キャリア教育	164 6.2	95 5.5	20 8.7	49 7.0
	就職実績・大学院等進学実績	479 18.0	305 17.6	38 16.5	136 19.3
	入試難易度・自分の学力	827 31.1	657 38.0	41 17.7	129 18.3
	入試方法・入試科目	186 7.0	111 6.4	15 6.5	60 8.5
	設置形態(国公私立の別)	49 1.8	47 2.7	1 0.4	1 0.1
	学費等のコスト面	719 27.0	430 24.9	59 25.5	230 32.7
	補習授業・生活指導等の学生支援	37 1.4	13 0.8	1 0.4	23 3.3
	立地場所	412 15.5	313 18.1	24 10.4	75 10.7
	施設・設備等の教育研究環境	296 11.1	171 9.9	26 11.3	99 14.1
	伝統・世間での評判	119 4.5	87 5.0	5 2.2	27 3.8
	自分の性格・適性	519 19.5	274 15.8	56 24.2	189 26.9
	担任や進路指導の先生の意見	128 4.8	75 4.3	15 6.5	38 5.4
	家族(親や兄弟・姉妹)の意見	305 11.5	157 9.1	29 12.6	119 16.9
	友人の意見	46 1.7	19 1.1	6 2.6	21 3.0
	大学の現役生や卒業生の意見	114 4.3	61 3.5	13 5.6	40 5.7
	その他	25 0.9	10 0.6	1 0.4	14 2.0
不明	40 1.5	19 1.1	4 1.7	17 2.4	

表3-1 問5① 小学校教諭一種免許状の取得への興味 × 問2 高校卒業後の進路

上段:回答者数(人)		問5① 小学校教諭一種免許状の取得への興味						
下段:回答割合(%)		合計	大変興味を感じる	興味を感じる	少し興味を感じる	あまり興味を感じない	興味を感じない	不明
問2 高校卒業後の進路	全体	2663 100.0	241 9.0	388 14.6	574 21.6	652 24.5	693 26.0	115 4.3
	大学進学	1729 100.0	193 11.2	279 16.1	386 22.3	405 23.4	416 24.1	50 2.9
	短期大学進学	231 100.0	19 8.2	37 16.0	61 26.4	56 24.2	40 17.3	18 7.8
	専門学校進学	703 100.0	29 4.1	72 10.2	127 18.1	191 27.2	237 33.7	47 6.7

表3-2 問5② 幼稚園教諭一種免許状の取得への興味 × 問2 高校卒業後の進路

上段:回答者数(人)		問5② 幼稚園教諭一種免許状の取得への興味						
下段:回答割合(%)		合計	大変興味を感じる	興味を感じる	少し興味を感じる	あまり興味を感じない	興味を感じない	不明
問2 高校卒業後の進路	全体	2663 100.0	278 10.4	424 15.9	491 18.4	621 23.3	706 26.5	143 5.4
	大学進学	1729 100.0	161 9.3	280 16.2	310 17.9	418 24.2	490 28.3	70 4.0
	短期大学進学	231 100.0	81 35.1	45 19.5	32 13.9	25 10.8	29 12.6	19 8.2
	専門学校進学	703 100.0	36 5.1	99 14.1	149 21.2	178 25.3	187 26.6	54 7.7

表3-3 問5③ 保育士資格の取得への興味 × 問2 高校卒業後の進路

上段:回答者数(人)		問5③ 保育士資格の取得への興味						
下段:回答割合(%)		合計	大変興味を感じる	興味を感じる	少し興味を感じる	あまり興味を感じない	興味を感じない	不明
問2 高校卒業後の進路	全体	2663 100.0	364 13.7	425 16.0	494 18.6	555 20.8	708 26.6	117 4.4
	大学進学	1729 100.0	177 10.2	271 15.7	313 18.1	399 23.1	506 29.3	63 3.6
	短期大学進学	231 100.0	124 53.7	27 11.7	22 9.5	25 10.8	26 11.3	7 3.0
	専門学校進学	703 100.0	63 9.0	127 18.1	159 22.6	131 18.6	176 25.0	47 6.7

表34 問6 宮崎国際大学教育学部児童教育学科への進学希望 × 問2 高校卒業後の進路

上段:回答者数(人)		問6 宮崎国際大学教育学部児童教育学科への進学希望							
下段:回答割合(%)		合計	進学を希望する	一応進学を考える	受験先の候補の一つとして考える	進学を希望しない	わからない	その他	不明
問2 高校卒業後の進路	全体	2663	33	54	175	1747	580	2	72
		100.0	1.2	2.0	6.6	65.6	21.8	0.1	2.7
	大学進学	1729	16	38	121	1120	412	-	22
		100.0	0.9	2.2	7.0	64.8	23.8	-	1.3
短期大学進学	231	5	11	31	112	65	-	7	
	100.0	2.2	4.8	13.4	48.5	28.1	-	3.0	
専門学校進学	703	12	5	23	515	103	2	43	
	100.0	1.7	0.7	3.3	73.3	14.7	0.3	6.1	

表35 問7 希望する免許・資格の取得の組み合わせ(第1希望) × 問2 高校卒業後の進路

上段:回答者数(人)		問7 希望する免許・資格の取得の組み合わせ(第1希望)								
下段:回答割合(%)		合計	小学校教諭のみ	幼稚園教諭のみ	保育士のみ	小学校教諭+幼稚園教諭	小学校教諭+保育士	幼稚園教諭+保育士	小学校教諭+幼稚園教諭+保育士	不明
問2 高校卒業後の進路	全体	262	55	6	14	33	20	62	62	10
		100.0	21.0	2.3	5.3	12.6	7.6	23.7	23.7	3.8
	大学進学	175	45	4	2	27	13	33	46	5
		100.0	25.7	2.3	1.1	15.4	7.4	18.9	26.3	2.9
短期大学進学	47	3	1	9	-	3	19	12	-	
	100.0	6.4	2.1	19.1	-	6.4	40.4	25.5	-	
専門学校進学	40	7	1	3	6	4	10	4	5	
	100.0	17.5	2.5	7.5	15.0	10.0	25.0	10.0	12.5	

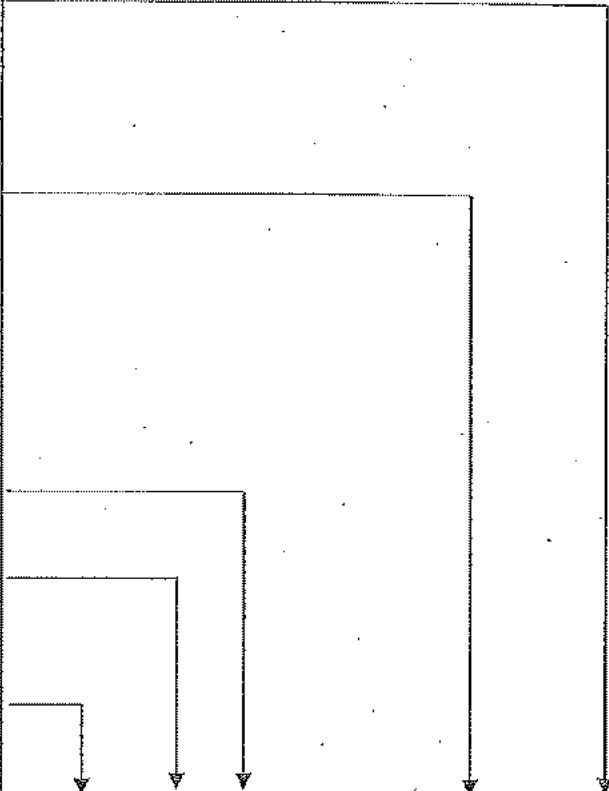
表36 問7 希望する免許・資格の取得の組み合わせ(第2希望) × 問2 高校卒業後の進路

上段:回答者数(人)		問7 希望する免許・資格の取得の組み合わせ(第2希望)								
下段:回答割合(%)		合計	小学校教諭のみ	幼稚園教諭のみ	保育士のみ	小学校教諭+幼稚園教諭	小学校教諭+保育士	幼稚園教諭+保育士	小学校教諭+幼稚園教諭+保育士	不明
問2 高校卒業後の進路	全体	262	16	22	20	50	46	35	55	18
		100.0	6.1	8.4	7.6	19.1	17.6	13.4	21.0	6.9
	大学進学	175	14	12	8	43	34	18	38	8
		100.0	8.0	6.9	4.6	24.6	19.4	10.3	21.7	4.6
短期大学進学	47	1	3	7	5	4	12	12	3	
	100.0	2.1	6.4	14.9	10.6	8.5	25.5	25.5	6.4	
専門学校進学	40	1	7	5	2	8	5	5	7	
	100.0	2.5	17.5	12.5	5.0	20.0	12.5	12.5	17.5	

資料イ-2 宮崎学園高等学校アンケート調査結果 (独自調査による結果) (本文 14 頁)

クラス	回答数	進学希望分野(第1希望)																		新学部進学希望								
		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	進学希望	一志進学先	受験先候補	希望しない	わからない	その他			
3L	25	4	2	2	3	1	1	1		3	5		1		1		1		1	1	2	1	16	3				
3K	26	1	1	1	4	1			1	2	3	4	1	3						1			20	4				
3A	25	3	2	1	4	2	3		2				1	2	1					1		2	14	4				
3B	39	13	10	3		1	1				2	1	1	1	7	3	1	1		1			16	6				
3C	34	14	3	2	3		1	1	1	2	1	2	1	2	1	1	1						13	4				
3D	59	3	34	37	1	31		1					1	2		1	1			1	6	6	12	11	1			
3E	20	2	12	14		12	1							1	1					1	1	1	8	3				
経情	58	11	11	22	1	1	11	1		4	1			1			2				1	1	15	5				
3音	18	8	8	16		3	1									12					1		10	5				
計	304	113	85	198	13	9	5	60	3	18	4	1	2	7	5	10	13	5	11	9	17	6	6	11	11	124	45	1

番号	希望分野
1	文学
2	外国語
3	心理学
4	教育・保育学
5	法学・政治学
6	商学・経済学・経営学
7	社会学・社会福祉学
8	国際関係学
9	理学
10	工学
11	農学
12	医学・歯学・薬学
13	看護学
14	医療技術学
15	家政学
16	体育学
17	芸術学
18	その他



宮崎国際大学国際教養学部比較文化学科の入試における宮崎県出身者数および県外出身者数の推移

区 分	2010						2011						2012						2013						
	平成22年						平成23年						平成24年						平成25年						
	志願者 %	合格者 %	入学者 %	高麗生 %	合格者 %	入学者 %	志願者 %	合格者 %	入学者 %	高麗生 %	合格者 %	入学者 %	志願者 %	合格者 %	入学者 %	高麗生 %	合格者 %	入学者 %	志願者 %	合格者 %	入学者 %	高麗生 %	合格者 %	入学者 %	
宮崎県出身者数	69	67	41	91	89	54	80	80	89	71.2%	52	89	78	56	71.6%										
県外出身者数	24	24	13	40	38	19	39	36	43	28.8%	21	43	39	22	28.2%										
(内、九州外出身者)	(9)	(9)	(5)	(12)	(12)	(5)	(24)	(22)	(28)	(14.2%)	(14)	(28)	(25)	(15)	(16.2%)										
合 計	93	91	54	131	127	73	119	116	132	100.0%	73	132	117	78	100.0%										

平成22年～平成25年(4年間)の平均26.78%

平均26.78%×50人=13人

宮崎県内・近隣大学の入試状況(平成23年度～平成25年度)

(本文 15 頁)

大学・学部名 (免許・資格)		年度 (平成)	入学定員 A (人)	志願者数 B (人)	受験者数 (人)	合格者数 (人)	入学者数 C (人)	倍率 B/A	充足率 C/A	
宮崎県内の教育 学部に 所属する 小学校 教員養成課程	宮崎大学	23	75	288	149	83	80	3.84	1.06	
	教育文化学部	24	75	565	348	83	76	7.53	1.01	
	初等教育課程	(幼一, 小一)	25	75	405	236	81	75	5.40	1.00
	南九州大学	23	80	88	88	84	52	1.11	0.65	
	人間発達学部	24	80	124	124	122	76	1.55	0.95	
	子ども教育学科	(小幼保)	25	80	119	118	114	73	1.49	0.91
近隣大学の教育 学部系 小学校 教員養成課程	熊本大学	23	110	418	270	120	117	3.80	1.06	
	教育学部	24	110	311	234	120	119	2.83	1.08	
	小学校教員養成課程	(小一)	25	110	334	222	117	3.04	1.06	
	大分大学	23	90	538	408	102	93	5.98	1.03	
	教育福祉科学部	24	90	502	394	99	94	5.58	1.04	
	発達教育コース	(小一)	25	90	472	341	105	101	5.24	1.12
	教科教育コース		25	90	472	341	105	101	5.24	1.12
	鹿児島大学	23	240	959	746	257	250	4.00	1.04	
	教育学部	24	240	813	624	262	246	3.39	1.03	
	学校教育教員養成課程	(小一)	25	240	881	681	264	244	3.67	1.02
	特別支援教育教員養成課程		25	240	881	681	264	244	3.67	1.02
	鹿児島国際大学	23	120	—	—	—	—	—	—	
福祉社会学部	24	120	256	255	225	148	2.13	1.23		
児童学科	(小幼保)	25	120	255	253	225	128	2.13	1.07	
鹿児島純心女子大学	23	45	—	—	—	—	—	—		
国際人間学部	24	45	93	91	91	49	2.07	1.09		
子ども学科	(小幼保)	25	45	80	80	80	47	1.78	1.04	

備考:

1) 入学定員、志願者数、受験者数、合格者、入学者の数は、各大学のホームページ及び電話聞き取りにより整理した。

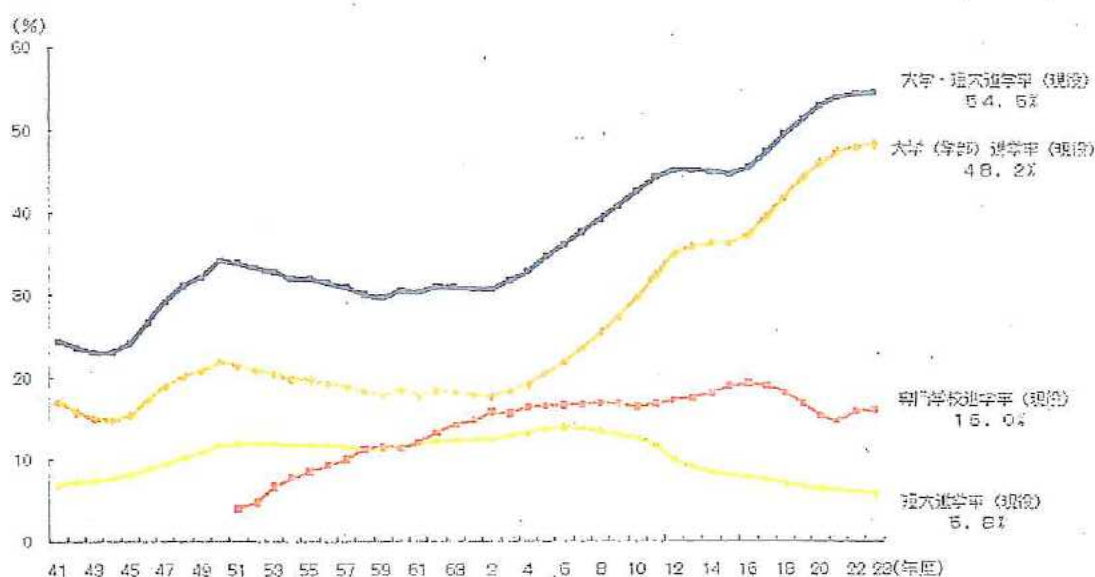
2) 小一：小学校一種免許状、幼一：幼稚園一種免許状、小幼保：小学校一種免許状・幼稚園一種免許状・保育士資格

3) 大分大学教育福祉学部では、発達教育コース及び教科教育コースを選択し、小学校教諭一種免許状を取得できるため、両コースを小学校課程の入学定員とした。

4) 鹿児島大学教育学部は、小学校課程として定員を設けておらず、学校教育教員養成課程と特別支援教育教員養成課程として入学させ、その後、幼稚園、小学校、中学校、高等学校、支援学校等の免許状のいずれかを取得させる体制となっている。そのため、両教員養成課程を小学校課程の入学定員とした。

高等学校卒業者の大学・短大進学率の推移 (現役進学率)

平成23年度 : 大学(学部)への現役高校生の進学者数512,617人、進学率48.2%。
 短大への現役高校生の進学者数62,637人、進学率5.8%。



$$\text{大学・短大進学率(現役)} = \frac{\text{大学の学部、短期大学の本科、大学・短期大学の通信教育部、同別科及び
 高等学校・特別支援学校高等部専攻科に進学した者}}{\text{高等学校卒業者及び中等教育学校後期課程卒業者}}$$

(注) 平成23年度の進学率には、岩手県、宮城県及び福島県の高等学校卒業者及び中等教育学校後期課程卒業者の進学状況は未集計であるため、算入されていない。

文部科学省「平成23年度学校基本調査」より引用

宮崎国際大学教育学部に係る入学希望調査について

調査対象等	人数・割合	備 考
① 宮崎県内18歳人口(平成25年度末)	11,773 人	
② 調査対象となった人数	3,849 人	※18歳人口①に対する割合32.7%
③ 宮崎県内大学志願者数(現役大学志願率35.7%)	4,203 人	=18歳人口①×現役大学志願率35.7%
④ 調査回答者のうち大学への進学希望者数	1,729 人	※大学志願者数③の41.1%
⑤ ④のうち、宮崎国際大学教育学部への進学希望者	16 人	
⑥ ③のうち、宮崎国際大学教育学部への進学希望者(推計)	38 人	=大学志願者数③×⑤/④
⑦ 姉妹校(宮崎学園高等学校)からの入学希望者数	6 人	
⑧ 宮崎国際大学への県外からの入学割合による教育学部への入学見込み	13 人	※過去4年間の県外からの入学者平均割合26.8%×教育学部定員50人
上記による入学者数計(最小見込み数⑥+⑦+⑧)	57 人	=⑥+⑦+⑧

宮崎県 年齢別本務教員数(公立小学校)

19歳以下~43歳		(人)																							
区分	19歳以下	20歳	21歳	22歳	23歳	24歳	25歳	26歳	27歳	28歳	29歳	30歳	31歳	32歳	33歳	34歳	35歳	36歳	37歳	38歳	39歳	40歳	41歳	42歳	43歳
全国	—	11	85	1,856	4,833	5,928	5,095	7,541	7,915	7,859	8,151	8,194	8,033	7,755	7,347	7,132	7,331	7,782	8,067	8,082	8,504	8,487	9,011	10,015	11,249
北海道	—	—	5	83	201	218	236	251	272	249	279	303	282	256	253	193	219	216	223	219	271	289	289	368	446
東北	—	—	1	7	22	28	30	25	42	26	36	37	36	44	43	48	50	49	72	73	100	78	111	102	136
関東	—	—	—	5	14	25	36	46	36	51	52	40	73	89	74	88	88	128	153	143	196	208	248	242	264
中部	—	—	—	12	31	40	50	54	49	72	59	67	72	77	105	87	138	140	145	180	201	211	239	242	286
近畿	—	—	—	4	8	11	17	20	13	19	26	34	37	44	51	44	57	77	90	96	107	94	127	137	176
中国	—	—	1	5	11	16	13	34	43	39	51	67	74	92	80	75	93	80	91	84	95	117	127	148	172
四国	—	—	4	45	78	98	106	106	113	123	128	135	111	161	166	223	232	235	274	338	291	300	294	306	281
九州	—	—	—	1	5	7	12	19	18	29	54	65	99	125	129	121	128	147	160	151	174	182	185	178	176

※平成22年度学校教員統計調査(文部科学省)より引用

44歳以下~65歳以上		(人)																									
区分	44歳	45歳	46歳	47歳	48歳	49歳	50歳	51歳	52歳	53歳	54歳	55歳	56歳	57歳	58歳	59歳	60歳	61歳	62歳	63歳	64歳	65歳	66歳以上		合計		
																							19歳以下~65歳以下	計			
全国	9,051	11,439	11,137	11,631	12,138	13,086	14,181	15,753	16,791	16,923	15,511	15,841	14,076	12,310	10,574	8,950	4,532	575	576	576	136	9	7	10	354,652	145,396	238,236
北海道	381	497	510	545	537	572	791	811	814	806	733	579	553	441	367	272	197	25	12	12	7	2	2	2	15,240	6,332	9,908
東北	123	139	126	144	156	153	171	185	179	144	111	89	89	54	37	34	12	—	1	1	—	—	—	1	5,145	1,177	1,968
関東	231	283	266	254	246	253	238	249	247	193	153	135	124	74	70	53	21	2	2	2	—	—	—	—	5,476	2,433	2,993
中部	230	318	286	303	336	319	238	231	237	275	255	229	159	138	103	93	49	1	3	3	1	—	—	—	6,545	2,814	3,731
近畿	105	122	155	195	207	235	250	250	251	134	204	171	113	101	92	70	41	3	—	—	—	—	—	—	4,116	1,482	2,634
中国	137	171	162	148	183	185	233	180	184	146	160	115	94	72	50	48	25	—	1	1	1	—	—	—	5,907	1,601	2,306
四国	247	275	243	235	243	220	154	227	214	133	169	126	123	90	102	106	46	8	12	3	—	2	2	2	7,313	3,505	3,808
九州	136	180	126	124	132	129	127	143	137	134	138	144	142	153	133	116	75	—	—	—	1	—	—	—	4,470	1,366	3,104

※平成22年度学校教員統計調査(文部科学省)より引用

1 (書類等の題名)

宮崎県教職員の退職に関する記事 (資料イー8)
設置の趣旨 (19 ページ)

2 (出展)

宮崎日日新聞 2012年 (平成24年) 12月30日 (日曜日)

3 (引用範囲)

21面

4 (その他の説明)

1段目の退職者数を記載してある箇所に黄色のマーカーを付けた。

宮崎県及び近隣の小学校教員採用者数調べ

(平成 22 年度～平成 24 年度)

県名	年度	小学校教員採用者数
宮崎県	H22 年度	44
	H23 年度	41
	H24 年度	35
熊本県	H22 年度	100
	H23 年度	95
	H24 年度	81
大分県	H22 年度	55
	H23 年度	65
	H24 年度	85
鹿児島県	H22 年度	101
	H23 年度	109
	H24 年度	101

各県教育委員会教職員課のデータより引用

宮崎県の幼稚園数・園児数・教員数

区 分		学 校 数		学級数	園児数	教員数 (本務者)	職員数 (本務者)
		本 校	分 校				
幼 稚 園	平成19年度	139	—	581	10,936	805	173
	20	140	—	557	10,331	789	166
	21	137	—	545	9,849	781	160
	22	136	—	535	9,727	767	154
	23	136	—	539	9,820	776	139
	24	135	—	548	10,221	793	147

(注) 幼稚園の教員数は、教育補助員を除く。

「宮崎県平成24年度学校基本調査」より